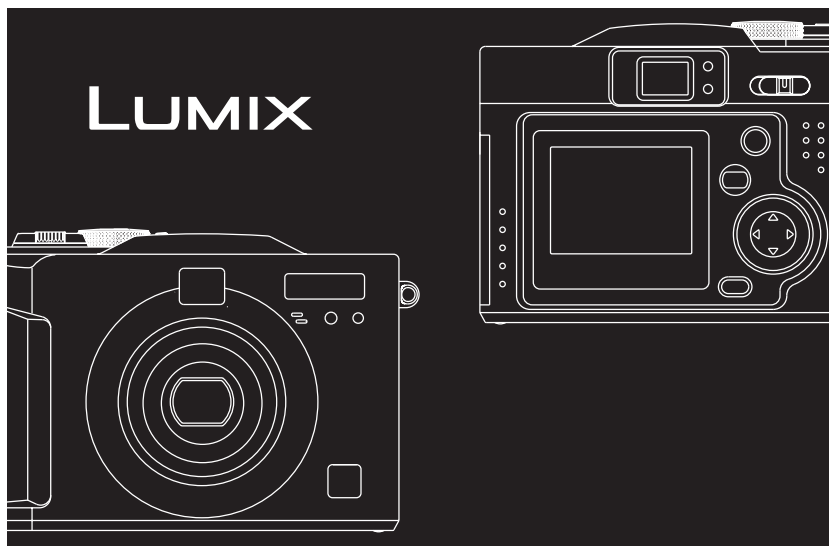
Panasonic

デジタルカメラ 取扱説明書

品番 DMC-LC33

LUMIX

上手に使って上手に節電

保証書別添付

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0D78

もくじ

はじめに

準備

撮る・基本

撮る・シーンモード

撮る・応用

見る

使いこなす

その他

安全上のご注意（危険） 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

電池を炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

電池の⊕⊖に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

禁　止

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

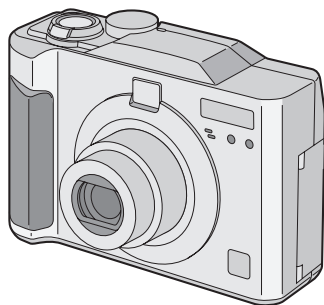
- 電池の使用についてはP14～P18、P97、P102を参照してください。
- 「安全上のご注意」の警告、注意はP90～P95を参照してください。

特長

携帯性のよい、コンパクト＆軽量ボディ

F2.8 光学３倍ズーム

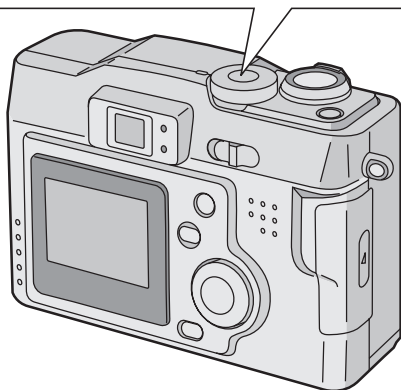
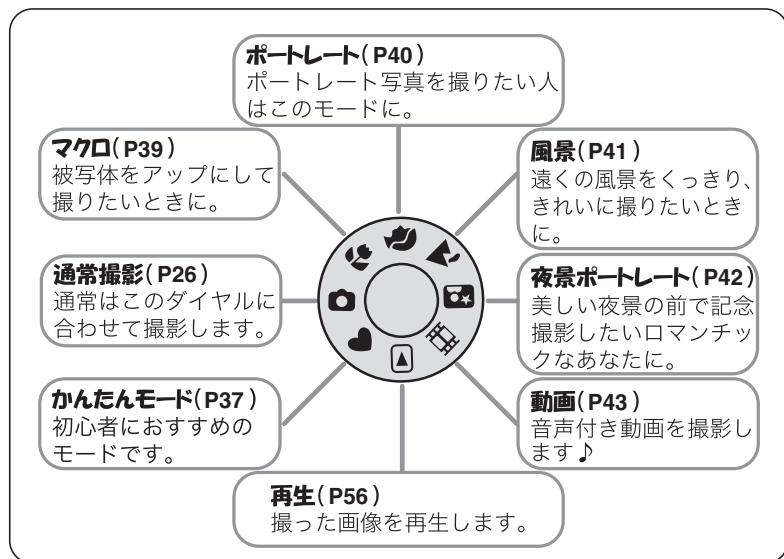
ライカ DC バリオ・エルマリートレンズ搭載

新開発 LSI（ヴィーナスエンジン）により高画質、
高速処理を実現

秒４コマ、最大８コマの高画質連写機能搭載

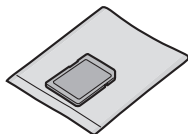
かんたんモードにより初心者でもかんたんに
撮影可能

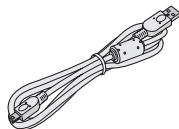
単３形アルカリ乾電池で長時間撮影

モードダイヤル搭載

本機には撮影シーンに合わせて使用できるモードダイヤルがあります。お好みのモードを選んで、撮影のバリエーションを広げてお楽しみください。**モードダイヤルはゆっくり確実に回してください。**

付属品

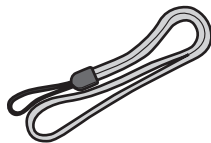
本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。記載の品番は 2003 年 3 月現在のものです。

■ SD メモリーカード（16MB）
RP-SD016B

（本文中では
カードと表記します）

■ USB 接続ケーブル
K2KZ4CB00005

■ 単３形アルカリ乾電池（２本）

■ CD-ROM

■ A/V ケーブル
K2KD3CB00001

■ ストラップ
VFC3994

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

使う前に まずお読みください

**事前に必ずためし撮りをしてください
(P12のクイックガイドをご覧ください)**

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

カードの画像について

- 以下の場合、本機で再生できないことがあります。
  - ・他機で記録、作成した画像
  - ・パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

本機で使用できる電池は

Panasonic 製単３形アルカリ乾電池、単３形ニッケル水素電池です。

- 上記以外の電池を使用すると、誤動作を起こしたり、撮影時間が短くなります。

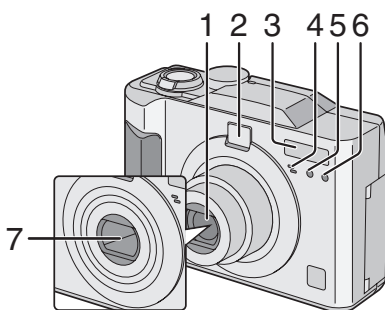
本機で使用できるカードは

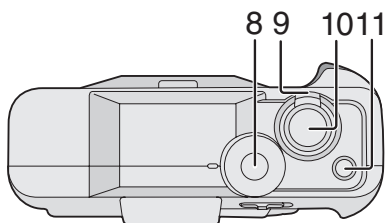
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

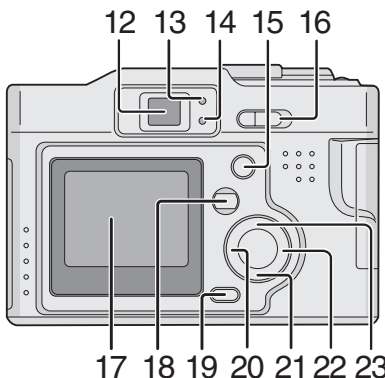
- 本書では SD メモリーカードとマルチメディアカードをカードと記載しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SD :SD ロゴは商標です。
- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、MacOS は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- ELMARIT/ エルマリートはライカカメラ AG の登録商標です。
- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国および他の国々で登録された商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

各部の名前

[前面]

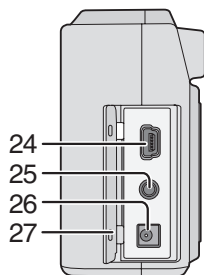
1　レンズ
2　光学ファインダー(P26)
3　フラッシュ発光部
4　マイク(P43, P50, P72)
5　フラッシュ調光センサー(P33)
6　セルフタイマーランプ(P34)
7　レンズカバー

[天面]

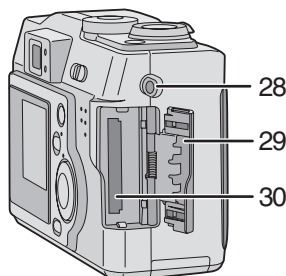
8　モードダイヤル(P7)
9　ズームレバー(P31, P51)
10 シャッターボタン(P26)
11 単写 / 連写切換ボタン(P35)

[後面]

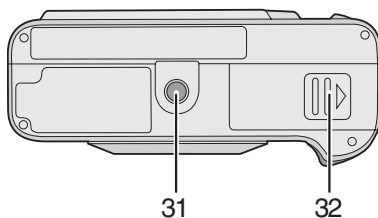
12 光学ファインダー(P26)
13 動作表示ランプ(P27)
14 フラッシュ/ アクセスランプ(P20, P27, P33)
15 DISPLAY ボタン(P25)
16 電源 スイッチ(P26)
17 液晶モニター(P25, P86)
18 MENU ボタン(P21)
19 削除ボタン(P61)
20 ◀/ セルフタイマーボタン(P34)
21 ▼/REVIEW/SET ボタン(P30)
22 ▶/ フラッシュボタン(P32)
23 ▲/ 露出補正(P54)/ オートブラケットボタン(P55)

[左側面]

[右側面]

[底面]

[左側面]

24 USB 端子（5pin）（P80, P81）
25 A/V OUT 端子（P79）
26 DC IN 端子（P84）
27 端子扉

[右側面]

28 ストラップ取付穴（P21）
29 メモリーカード扉（P19）
30 メモリーカード挿入口（P19）

[底面]

31 三脚取付穴
32 電池扉（P14）

クイックガイド

機材を準備します。

• 本機	• 電池	• カード

• 電源スイッチが [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

■ 準備

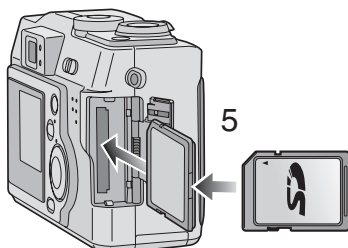
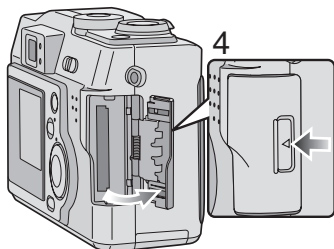
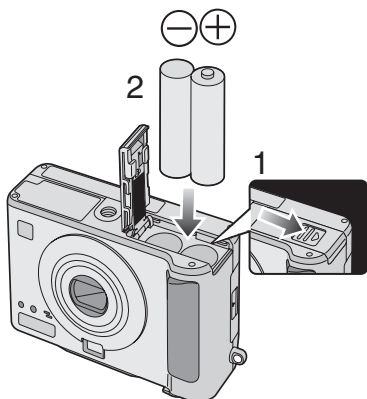
1 矢印の方向にスライドさせ、電池扉を開く

2 電池を入れる（P14）
- 新しい電池を入れてください。
- ⊕⊖ の向きを間違えずに入れてください。

3 電池扉を確実に閉じる

4 矢印の方向にスライドさせ、メモリーカード扉を開く

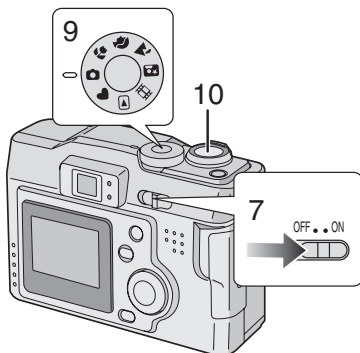
5 カードをカチッと音がするまで奥までしっかり入れる（P19）

6 メモリーカード扉を確実に閉じる

■ 撮影

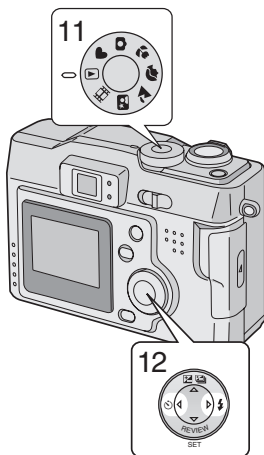
7 電源スイッチを [ON] にする

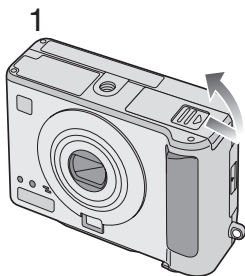
8 時計を設定する（P24）

9 モードダイヤルを通常撮影モード [📷] にする

10 撮影する（P26）

■ 再生

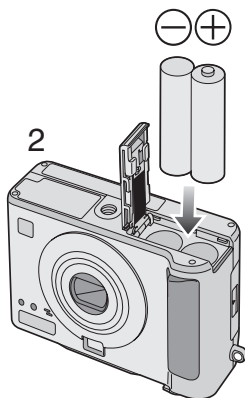
11 モードダイヤルを再生 [▶] にする

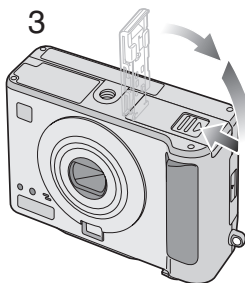
12 ◀/▶ を押して見たい画像を表示する（P56）

電池を入れる

[準備]

- 電源スイッチが [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

1 矢印の方向にスライドさせ、電池扉を開く

2 電池を入れる

- 新しい電池を入れてください。
- ⊕⊖ の向きを間違えずに入れてください。

3 矢印の方向にスライドさせ、電池扉を確実に閉じる

- 電池扉の内側端子部に電池保護のために黒いシートが付いています。このシートははがさないでください。

お願い/ヒント

- **新しい電池を挿入して約3時間以上経過すると電池を取り出して放置しても、約3カ月は時計設定を記憶しています。**
  (容量が十分でない電池を挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります)
  しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をし直してください。(P24)
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、電源スイッチを [OFF] にしてランプが消えてから電池を取り出してください。**(P20)

電池について

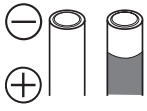
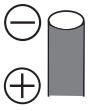
■使用できる電池について

単３形アルカリ乾電池または単３形充電式ニッケル水素電池(別売)を使用してください。(Panasonic 製電池の使用をおすすめします)

- **電池の銘柄や製造日からの保存期間・保存状態によって、性能が大きく異なる場合があります。また誤動作を起こしたり、撮影時間が短くなる場合があります。**
- 電池は低温時には一時的に性能が低下します。低温時(10 ℃以下)で使用するときは、ポケットの中などで温めてから使用してください。なお、低温のために性能が低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- 使用温度や使用条件によっては、電池残量が正しく表示されない場合があります。従って、残量表示が空になっていなくても、電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。

使用できない電池

マンガン乾電池	リチウム電池
ニッケル乾電池	ニッカド電池

- 上記の電池は動作保証しておりません。また液漏れや以下のような誤動作を起こす場合があります。
  - 電池残量が正しく表示されない
  - 電源が入らない
  - カードのデータが破壊される

ニッケルマンガン電池

- ニッケルマンガン電池を使用した場合、使用温度や使用条件によっては、電池残量が正しく表示されない場合があります。従って、残量表示が空になっていなくても、電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。また、低温時(10 ℃以下)には極端に使用時間が短くなります。

■使用できない形状の電池について

下記のような形状の電池は使用できません。

- 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 市販されている電池の中にも外装シールの一部またはすべてが覆われていない電池があるので、絶対に使用しないでください。(下図を参照してください)

■ 電池の取り扱いについて

電池の取り扱いかたを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂のおそれがあります。以下のことをお守りください。

- 分解、加工または加圧しないでください。
- 加熱したり、火中投入しないでください。
- ⊕⊖ 極に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させたり、一緒に持ち込んだりしないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- 落としたり、ぶつけたりして大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れ、変形、変色、その他異常に気付いたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。
- 電池を入れるときは、⊕⊖ の向きを間違えずに入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい電池に交換してください。
- 種類が違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 使用直後の電池は高温になる場合があります。電池の取り出しは電源スイッチを [OFF] にして、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 低温時(10 ℃以下)は電池の性能が低下し、撮影 / 再生時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池使用時は短くなる傾向があるため、ポケットの中などで温めてから使用してください。電池をポケットなどで温める場合、ライターなどの金属類やカイロに直接電池が触れないようにお気を付けください。
- ⊕⊖ 極に皮脂などの汚れがあると、撮影 / 再生時間が極端に短くなる場合があります。電池を入れる前に ⊕⊖ 極を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。

万一、液漏れが発生したときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 充電式ニッケル水素電池(別売)について

ニッケル水素電池は別売の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ただし、取り扱いかたを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂のおそれがあります。以下のことをお守りください。

- ⊕⊖ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。⊕⊖ 極と充電器の端子を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。(メモリー効果といいます)
  メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下します。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- 外装シールをはがしたり、傷を付けないでください。
- 充電器の取扱説明書もお読みください。

ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しい電池をお求めください。

- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。(別売の AC アダプター/DMW-AC1 で電源を供給しているときは表示されません)

:電池の容量は十分です。

:残量が少なくなっています。

:残量がほとんどありません。

(点滅):電池を交換してください。

- 電池の種類、銘柄、使用温度や使用条件によっては、残量が正しく表示されない場合があります。従って、残量表示が空になっていなくても、電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池は、特性上、残量表示が空になっても、しばらく放置すると、容量が回復する場合がありますが、またすぐに使用できなくなりますので、一度残量表示が空になったら、すぐに新しい電池に交換してください。

準備

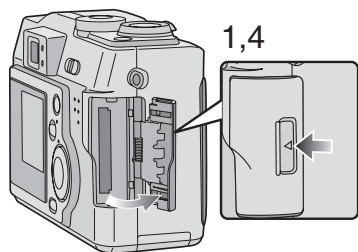
■ 撮影 / 再生時間について

(撮影条件)

- 30 秒間隔で 1 回記録、フラッシュを 2 回に 1 回発光
- 温度 25 ℃ / 湿度 60%
- 付属の SD メモリーカード使用(記録画素数; 2048 × 1536/ クオリティ; ファイン(カード容量がなくなってから全画像削除した場合)

使用する電池	連続撮影時間(枚数)	再生時間
付属の電池または市販の Panasonic アルカリ乾電池	液晶 ON 時 約 75 分(150 枚相当)	約 3 時間
	液晶 OFF 時 約 5 時間(600 枚相当)	
満充電された Panasonic ニッケル水素電池 (別売:HHR-3EPS) (1900 mAh)	液晶 ON 時 約 120 分(240 枚相当)	約 4 時間
	液晶 OFF 時 約 6 時間(720 枚相当)	

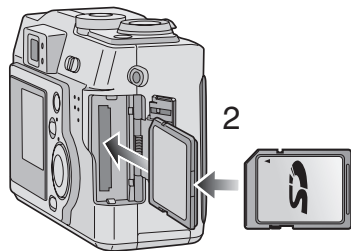
- 撮影 / 再生時間は電池の保存状態や使用条件によって多少変わります。
- 使用する電池の銘柄、種類によっては撮影 / 再生時間は異なります。

カードを入れる

[準備]
- 電源スイッチが[OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

[カードを入れる]

1　矢印の方向にスライドさせ、メモリーカード扉を開く

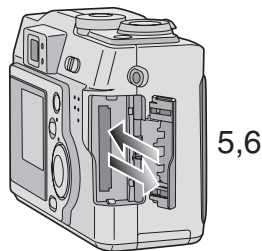
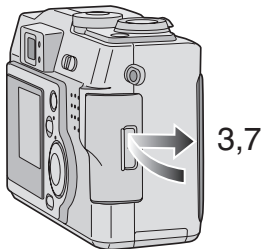
2　カードをカチッと音がするまで奥までしっかり入れる
- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。

3　矢印の方向にスライドさせ、メモリーカード扉を確実に閉じる

[カードを取り出す]

4　矢印の方向にスライドさせ、メモリーカード扉を開く

5　カードをカチッと音がするまで押す
- カードが少し出てきます。

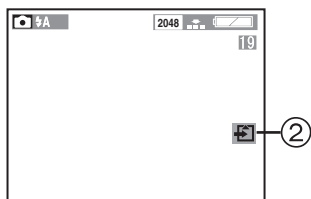
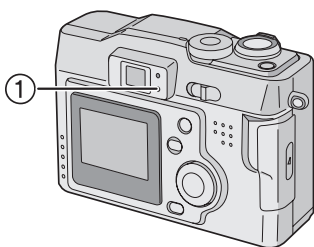
6　出た部分を持って、カードをまっすぐ引き抜く

7　矢印の方向にスライドさせ、メモリーカード扉を確実に閉じる

お願い/ヒント

- メモリーカード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- カードが入らないときは、カードの向きが正しいか確認してください。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。(正規カード以外は使用しないでください)
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れるおそれがあります。

カードについて

■ カードにアクセス中は･･･

カードにアクセス(認識 / 記録 / 読み出し / 消去など)中は、フラッシュ/ アクセスランプ ① とカードアクセス表示 ② が点灯します。

フラッシュ/ アクセスランプ ① とカードアクセス表示②が点灯しているときは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- 電池を取り出したり、カードを抜いたりしない
- 別売の AC アダプター/DMW-AC1 を抜かない

カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。

電気ノイズ、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはパソコン(P80)などにも保存してください。

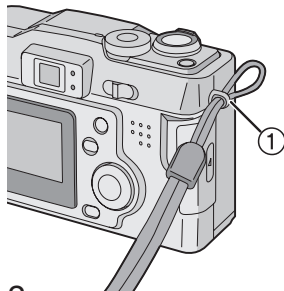
■ SD メモリーカード(付属)とマルチメディアカード(別売)について

SD メモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。SD メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。(スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります)

SD メモリーカード

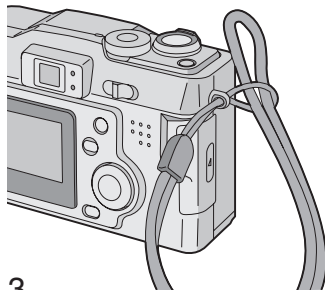
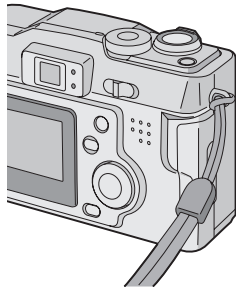
マルチメディアカード

- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、フラッシュ/ アクセスランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。

ストラップを付ける

1　ストラップの先端を本機のストラップ取付穴 ① にとおす

2　ストラップの反対側を輪の部分にとおす

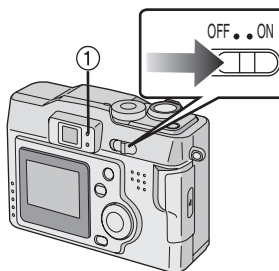
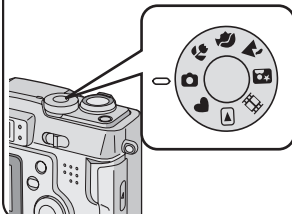
3　ストラップを引っ張る

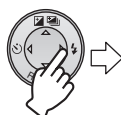
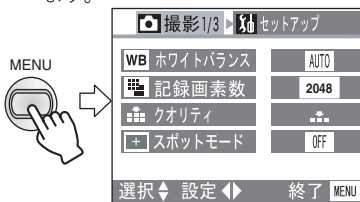
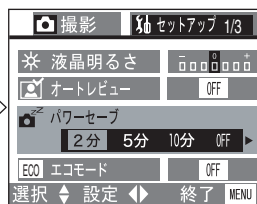
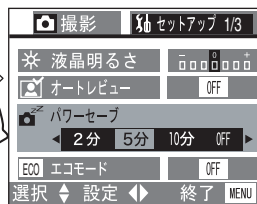
準備

セットアップメニューを設定する

メニューの選びかた

●かんたんモードのメニューの設定方法についてはP37をお読みください。

1 電源スイッチを[ON]にする

・動作表示ランプ①が点灯します。

2 撮影モード（♥ 以外）または再生モードにする

3 [MENU]ボタンを押して、▶を押す

・セットアップメニューが表示されます。

4 ▲/▼で項目を選ぶ

5 ◀/▶で設定内容を選ぶ

6 [MENU]ボタンを押す

・メニュー画面が消えます。

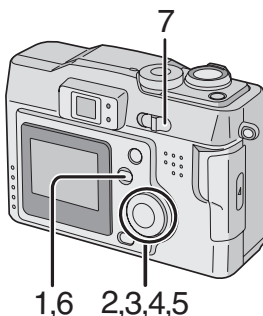
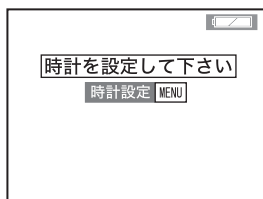
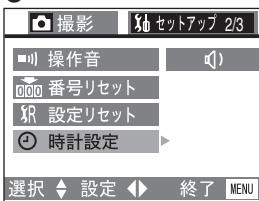
セットアップメニューについて

項目	設定内容
液晶明るさ	液晶の明るさを 7 段階に調整できます。
オートレビュー (撮影モードのみ)	• OFF: 自動的に表示されません。 • 1 秒(3 秒): 撮影後に撮影した画像が自動的に約 1 秒間(3 秒間)表示されます。(シャッターボタンを半押しすると解除されます)
パワーセーブ	• 2 分 /5 分 /10 分 : 設定した時間の間に何も操作しないと省電力モードになります。 (解除するには、シャッターボタンを押すか、または電源スイッチを [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください) • OFF: 省電力モードになりません。
エコモード (撮影モードのみ)	撮影時、約 15 秒間何も操作しないと、液晶モニターが消灯し、消費電力が節約されます。(P36)
操作音	• [大音量アイコン]: 操作音を大きくします。 • [音量アイコン]: 操作音を出します。 • [消音アイコン]: 操作音を消します。
番号リセット (撮影モードのみ)	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。
設定リセット (撮影モードのみ)	撮影系メニューとセットアップメニューで設定された内容をリセットします。お買い上げ時の状態に戻しますが、時計設定とかんたんモードの設定内容は変わりません。
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P24)
言語設定	• 日本語 : メニュー画面を日本語表記にします。 • ENG: メニュー画面を英語表記にします
ビデオ出力 (再生モードのみ)	• NTSC: ビデオ出力を NTSC 方式にします。 • PAL: ビデオ出力を PAL 方式にします。(P79)

お願い/ヒント

- 番号リセットと言語設定はかんたんモードにも反映されます。
- 動画 [動画アイコン] のときは、オートレビューを設定できません。
- オートレビューを [OFF] に設定しても、連写、オートブラケット、音声付き静止画を記録したときはオートレビューされます。
- 動画撮影 / 再生時、スライドショー中および別売の AC アダプター/DMW-AC1 使用時は、パワーセーブは働きません。

準備

時計を設定する

お買い上げ時は時計設定はされていませんので､｢時計を設定して下さい｣というメッセージが表示されます。[MENU] ボタンを押すと設定メニューが表示されますので、時計設定をしてください。
年は 2003 年から 2099 年まで設定できます。時刻は 24 時間表示です。

3

4,5

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▶ を押してセットアップメニューにする
- かんたんモード時は必要ありません。

3 ▲/▼ で[時計設定]を選び､▶ を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で年月日と時刻を合わせ、「分」を設定したあとで ▶ を押す

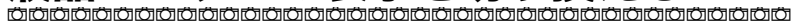
5 ▲/▼ で[年/月/日]､[日/月/年]､[月 / 日 / 年] から選ぶ

6 [MENU] ボタンを２回押す
- メニュー画面が消えます。

7 一度電源を [OFF] にしてから再度 [ON] にして、設定どおり表示されているか確認する

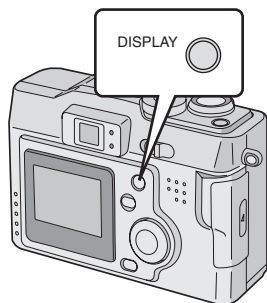
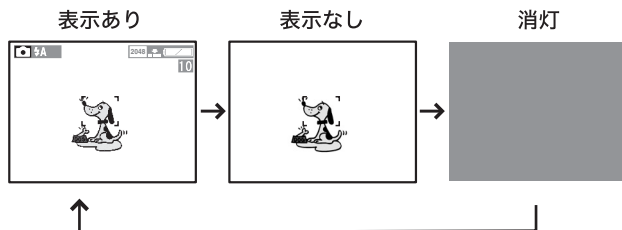
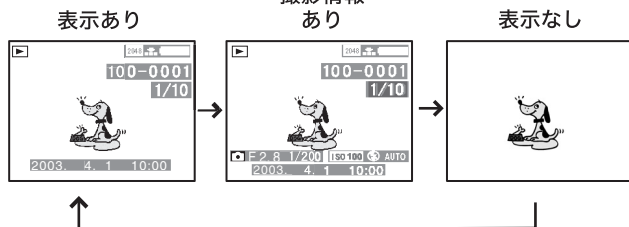
お願い/ヒント

- **新しい電池を挿入して約3時間以上経過すると電池を取り出して放置しても､約 3 カ月は時計設定を記憶しています。**
  (容量が十分でない電池を挿入した場合は､記憶時間は短くなることがあります)
  しかしそれ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので､もう一度時計設定をし直してください。

液晶モニターの表示を切り換える

液晶モニターの表示は、[DISPLAY] ボタンを押すごとに以下のようになります。

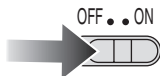
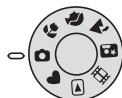
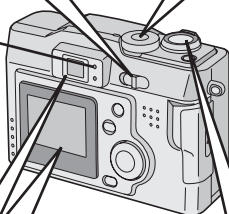
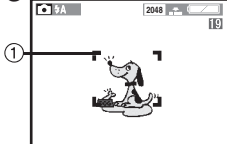
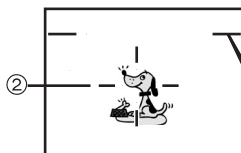
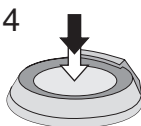
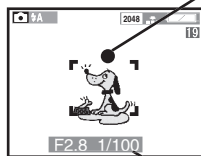
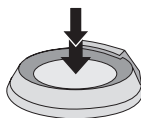
［撮影時］

［再生時］

準備

撮影してみましょう(通常撮影)

シャッターボタンを押すだけで、露出(シャッタースピードと絞り値)が自動的に決まり、撮影できます。

[準備]

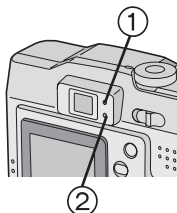
• 電池を入れる(P14)　• カードを入れる(P19)

■ ランプについて

動作表示ランプ(緑)①

点滅

- フォーカス動作中およびフォーカスが合っていないとき
- カードが入っていないとき
- 撮影残り枚数 / 時間がないとき
- 電池残量が少なくなったとき(ゆっくり点滅)

点灯

- 電源スイッチを [ON] にしたとき

フラッシュ/ アクセスランプ(赤)②

点滅

- フラッシュを充電しているとき
- フラッシュの設定を発光禁止 [ ] にして、暗い場所で適正露出にならないとき(ゆっくり点滅)

点灯

- カードにアクセスしているとき
- フラッシュが発光するとき (シャッター半押しで点灯)
- パソコンにデータを転送中

■ ピントについて

- 通常撮影時は 50 cm までピントが合います。
  マクロ時は 39 ページを、かんたんモード時は 37 ページを参照してください。
- シャッターボタンを一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が点滅しているときはピントが合っていませんので、再度、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 以下のような場合、通常撮影ではピントがうまく合いません。
  ❶ 遠くと近くのものを同時に撮る
  ❷ 汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ❸ キラキラと光るものが周りにある
  ❹ 暗い場所を撮る
  ❺ 動きの速いものを撮る
  ❻ コントラスト(濃淡)の少ないものを撮る
  ❼ 手ぶれしている

- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。再度、半押ししてください。
- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなり、白っぽくなる場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。

撮る・基本

撮影してみましょう(通常撮影)(つづき)

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。
(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)
- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。特に暗い場所で長時間露光で撮影するときなどは、液晶モニター上は暗く映りますが、実際は明るく撮れます。

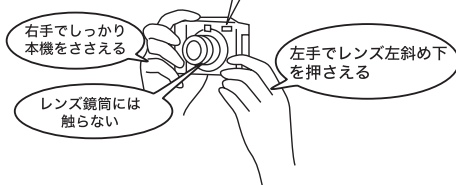
■ 手ぶれについて

- 手ぶれしやすいときは、手ぶれ警告表示が出ます。
- 手ぶれ警告表示が出ているときには三脚の使用をおすすめします。または構えかたにお気を付けください。
- シャッターボタンを押し込む際に、手ぶれにお気を付けください。

■ 上手に撮る姿勢

①フラッシュ発光部を指などでふさがない
②フラッシュ調光センサーを指などでふさがない

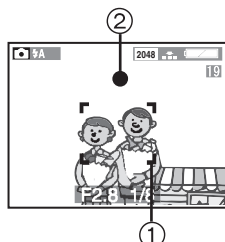
フラッシュ撮影された画像が暗くなります

③マイクを指などでふさがない

手持ちでぶれのない写真を撮るために…

・両手で本機を軽く持ち、脇をしめて構える
・シャッターボタンを半押し状態のとき、ぶれが収まっていることを確認する
・シャッターを切ったあと、画像が出るまで 本機 を固定する

■ AF/AE ロックについて

●AF: オートフォーカス
●AE:オートエクスポージャー(自動露出)

(例)右のような構図を撮りたい場合
被写体がAFエリアから外れている場合、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

AF エリア ① に被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定(AF/AE ロック)したまま撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを押すと、ピントの合ったきれいな画像が撮れます。

- ピントが合うと、フォーカス表示②[●]が点灯します。

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

■ 本機の取り扱いについて

- レンズ面に直接触れないでください。
- レンズ面に汚れや、ほこりが付いていないか確認してください。汚れたり砂などが付いたときは、市販のブロワーブラシでほこりや砂などを払い、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。(ふいたあとは、再度電源を入れ直してください)ベンジン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使用すると変色や破損の原因となります。
- レンズやレンズ鏡筒に衝撃を与えないでください。(取り扱いに気を付けてください)
- 撮影モードで電源を入れるときは、レンズ鏡筒が出ますので、レンズの前に障害物がないところで行ってください。
- レンズ鏡筒が出た状態では、レンズやレンズ鏡筒に力を加えないでください。
- 浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないように、また海水などでぬらさないようにしてください。

お願い/ヒント

- 撮影前には、再度時計設定をすることをおすすめします。(P24)
- エコモードが設定されているとき(P36)、何も操作しないと約 15 秒後に液晶モニターが消灯します。(何かボタンを押すと、液晶モニターが点灯します)
- パワーセーブの時間が設定されているとき(P23)、設定された時間内に何も操作しないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを押すか、電源スイッチを [OFF] にしてから再度 [ON] にしてください。
- ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部からカチッと音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、静止画撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。

撮影した画像を確認する(レビュー)

1

↓

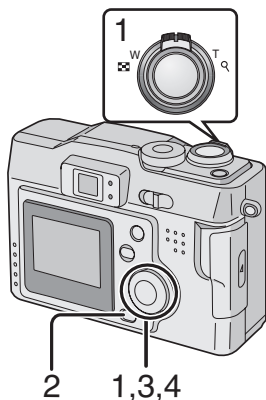
（例:4倍のとき）

3

1枚削除

この画像を削除しますか？

はい　いいえ

選択 ◀▶
決定▼　複数/全画像

1 撮影後、[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 画像が約 5 秒間表示されます。
  ズームレバーを [🔍] の方に動かすと4倍に、さらにもう一度動かすと8倍にズーム表示されます。
  (▲/▼/◀/▶ で拡大位置を変えることができます)
- また、◀/▶ で前後の画像を確認することができます。

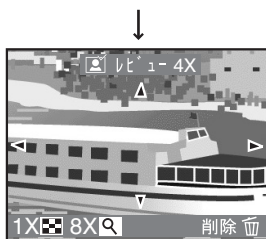
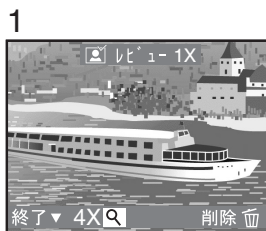
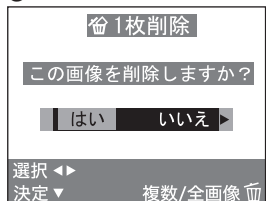
■ 撮影した画像をレビュー中に削除する場合

2 [🗑] ボタンを押す

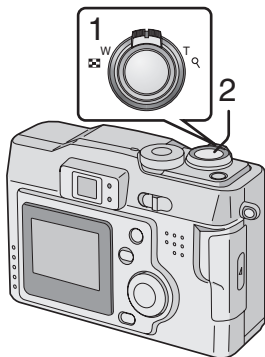
3 「この画像を削除しますか？」というメッセージが出たら、◀ で [はい] を選ぶ

- 選択すると黄色で表示されます。

4 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 画像が削除されます。
- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数･全画像削除もできます。削除の方法については62 、63 ページをお読みください。

お願い/ヒント

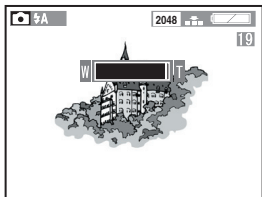
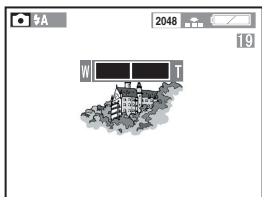
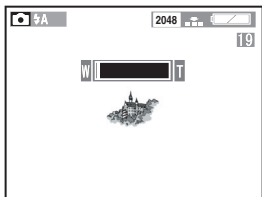
- シャッターボタンを半押しするとレビューが解除されます。
- 動画 [🎞] のときは、レビューが使えません。

大きく(望遠)または広く(広角)撮る

光学ズーム 3 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり景色などを広角に撮ることができます。

[準備]

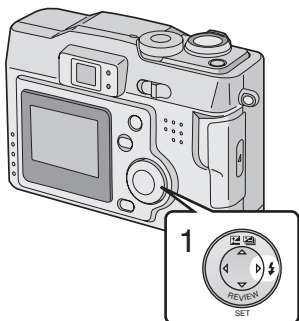
- モードダイヤル(▶以外)を選んでおく。

1 被写体にカメラを向けて、ズームレバーで大きさを調整する

大きく撮るには（望遠）：T 側へ動かす
広く撮るには（広角）：W 側へ動かす

2 撮影する

お願い/ヒント

- 画像はレンズによってわずかにゆがんで撮影されます。
  これをディストーション(歪曲収差)といいます。
  広角にして近付くほどディストーションは大きくなります。

撮る・基本

内蔵フラッシュを使う

暗い場所でも、内蔵フラッシュを使うと撮影することができます。

[準備]
- モードダイヤル(▶/山/動画 以外)を選んでおく。

1 [⚡] を押す

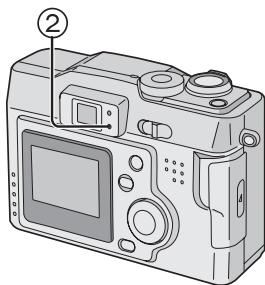
- 押すごとに、以下のように切り換わります。(撮影モードによって設定できない機能があります。設定できない機能は [⚡] ボタンを押しても表示されません。左表を参照してください)

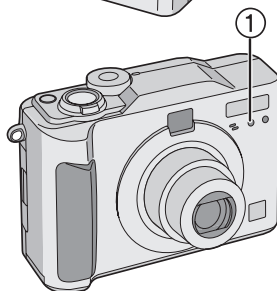
	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⊘
	○	○	○	○	○
	×	○	○	×	○
	○	○	○	○	○
	○	○	○	×	○
	×	×	×	×	○
	×	×	×	○	○
	×	×	×	×	○

○ : 設定可
× : 設定不可

⚡A :オート
撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。

⚡A◎ :赤目軽減オート
撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。そのときフラッシュが予備発光し、人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえます。
暗い場所で人物を撮るときなどに使います。

⚡ :強制発光
フラッシュを強制的に発光させます。
逆光になる場合や蛍光灯などの照明の下に被写体がある場合などの撮影に使います。

[赤目軽減スローシンクロアイコン]：赤目軽減スローシンクロ

夜景を背景に人物を撮影するときなど、フラッシュ発光とともにシャッタースピードも長くして背景の夜景も明るく写します。同時に人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえます。
三脚の使用をおすすめします。

[発光禁止アイコン]：発光禁止

暗いところでもフラッシュが発光しません。
フラッシュ禁止の場所での撮影などに使います。

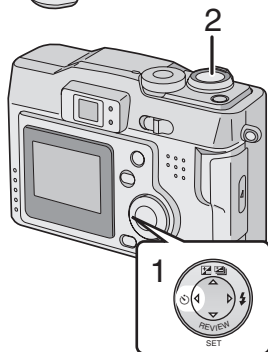
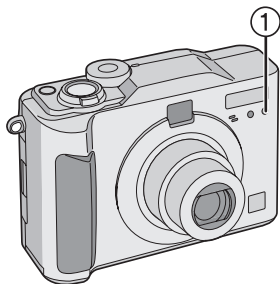
撮る・基本

お願い/ヒント

フラッシュ使用時は…

- **近くで発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近付けると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ調光センサー① を指などでふさがないでください。明るさを感知できません。またフラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**

- **フラッシュが届く範囲は、約 30 cm ～ 2.4 m (W 端時)、約 50 cm ～ 140 cm (T 端時)です。**
- 近くで撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合があります。
- 風景モード [風景アイコン] または動画 [動画アイコン] のときは、発光禁止 [発光禁止アイコン] に固定されます。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、1 枚しか撮影できません。
- フラッシュが発光する場合、シャッター半押し時にフラッシュマークが赤に変わります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュ/アクセスランプ②とフラッシュマークが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。
- 残量表示が [電池残量アイコン] 以下になる、またはエコモードを [ON] に設定していると、フラッシュ充電時、液晶モニターが消灯します。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが(AUTO、[白熱灯アイコン](白熱灯)のみ)、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- セットモードでホワイトバランスを設定した場合、フラッシュ撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。フラッシュ撮影時はホワイトバランスを [AUTO] に設定することをおすすめします。

セルフタイマーで撮る

シャッターボタンを押してから 10 秒後に自動的に撮影される通常のセルフタイマーに加えて、三脚使用時などに手ぶれを防止する 2 秒セルフタイマーも設定できます。

[準備]
- モードダイヤル(▶/🎞以外)を選んでおく。

1 [〇] ボタンを押す

- 押すごとに以下のように変わります。

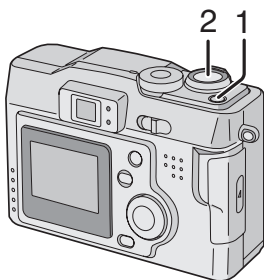
:セルフタイマー設定10秒
:セルフタイマー設定 2 秒
表示なし:セルフタイマー解除

2 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーランプ ① が点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー設定時は、シャッターボタンを半押ししてもピントと露出は固定されませんが、全押ししたあと撮影直前に自動的に固定されます。
- セルフタイマー動作中に [MENU] ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

お願い/ヒント

- かんたんモード [♥] のときは、セルフタイマーが 10 秒のみの設定になります。
- 連写のときはセルフタイマーを設定すると 1 枚しか撮影できません。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

連続して撮る(連写)

シャッターボタンを押し続けている間、最大 8 コマまで連続して画像を撮影します。

		H(高速)	L(低速)
連写速度		4コマ/秒	2コマ/秒
連写枚数	ファイン	最大5コマ	最大5コマ
	スタンダード	最大8コマ	最大8コマ

[準備]

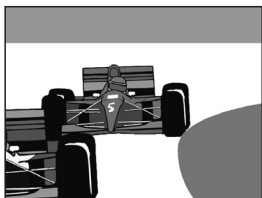
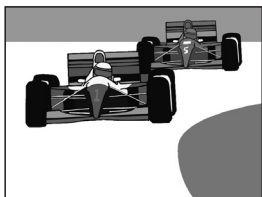
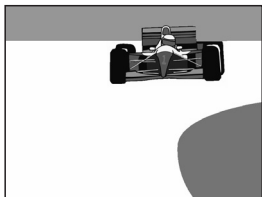
• モードダイヤル(▶/🎞 以外)を選んでおく。

1 [ ] ボタンを押す

• 押すごとに以下のように変わります。

H:連写設定高速

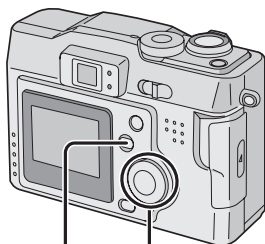
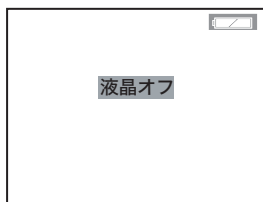
L:連写設定低速

表示なし:連写解除

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しし続けて連続撮影する

お願い/ヒント

• 高速連写時、1 秒に 4 コマ連写できるのは、シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないときです。
• フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮れません。
• かんたんモード[♥]のときは、低速に固定されます。(P38)
• 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
• 連写とオートブラケットが同時選択されている場合は、オートブラケットが優先されます。

撮る・基本

消費電力を節約して撮る(エコモード)

撮影時、約15秒間何も操作しないと液晶モニターが消灯し、消費電力が節約されます。

- エコモードを [ON] に設定すると、フラッシュ充電時にも液晶モニターが消灯します。
- エコモードを [ON] に設定すると、パワーセーブの設定時間は[2分]に固定されます。

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥以外)を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▶ を押してセットアップメニューにする

3 ▲/▼ で [エコモード] を選ぶ

4 ▶ で [ON] を選ぶ

5 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

- 消灯前の数秒間、「液晶オフ」というメッセージが点滅します。
- いずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。

お願い/ヒント

- 再生モード[▶]とかんたんモード[♥]では使用できません。
- メニュー画面表示中やセルフタイマー設定中はエコモードは働きません。
- 別売の AC アダプター(DMW-AC1)使用時や動画撮影中は、エコモードを [ON] に設定しても働きません。

[♥]かんたんモードについて

かんたんモード [♥] に合わせると:

- シンプルなメニューにしてあるので設定が簡単
- 難しい記録画素数の設定も用途で表すので選びやすい
- 表示が大きく見やすい

気軽に撮りたいとき、人に撮影を頼むときなどに最適です。

1 モードダイヤルをかんたんモード [♥] にする

2 [MENU] ボタンを押す

3 ▲/▼ で項目を選ぶ

4 ◀/▶ で設定内容を選ぶ

5 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

撮る・基本

撮る・シーンモード

項目	設定内容
画質設定 引き伸ばし 2048×1536 ファイン サービス版 1280×960 ファイン インターネット 640×480 スタンダード	• 引き伸ばし( ): A4 などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 • サービス版( ): サービスサイズ(L サイズ)の大きさにプリントするときに最適です。 • インターネット( ): 電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
オートレビュー	• ON: 撮影後に撮影した画像が自動的に約 2 秒間表示されます。 • OFF: 自動的に表示されません。
操作音	• ON: 操作音を出します。 • OFF: 操作音を消します。
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P24)

■ その他のかんたんモード設定

液晶明るさ
- 標準の明るさに固定されます。

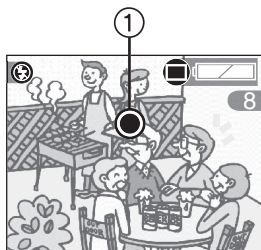
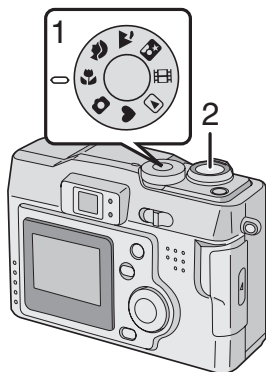
パワーセーブ
- [2 分] に固定されます。
- パワーセーブを解除するには、シャッターボタンを押すか、または電源スイッチを [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- 別売の AC アダプター/DMW-AC1 使用時は、パワーセーブが働きません。

エコモード
- [OFF] に固定されます。

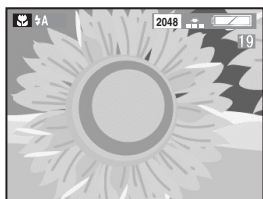
お願い/ヒント

- **連写は低速のみになります。**(P35)

連写枚数	引き伸ばし	最大5コマ
	サービス版	最大5コマ
	インターネット	最大8コマ

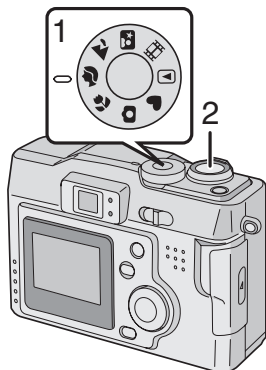
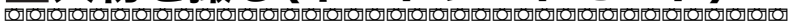
- 撮影可能範囲は 50 cm- ∞(T 端時)、10 cm- ∞(W 端時)になります。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示 ① が点灯していてもフォーカスが合っていない場合があります。
- 時計設定以外のかんたんモードでの設定内容は他の撮影モードには反映されません。
- 画質設定でクオリティー(圧縮率)のみを変更することはできません。
- 撮影モード別の詳細設定については (P44) を参照してください。

近距離で撮る(マクロモード)

より近い被写体を撮影するときに使います。レンズから 10 cm(W 端時)まで近づいて撮ることができます。

1 モードダイヤルをマクロ[ ]にする

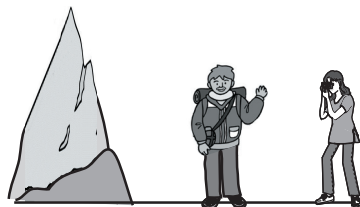
2 撮影する

撮る・シーンモード

お願い/ヒント

- 撮影の状況に応じてフラッシュの設定をしてください。(P32)
- フラッシュが届く範囲は、約 30 cm ～ 2.4 m (W 端時)、約 50 cm ～ 140 cm (T 端時)です。
  手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもフォーカスが合っていない場合があります。
- マクロ設定時、光学ファインダー内は撮影範囲とのずれが生じます。液晶モニターを使用してください。

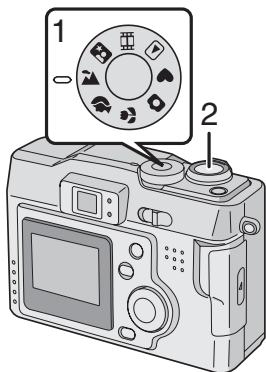
人物を撮る(ポートレートモード)

人物のポートレートを撮影するときに、被写体を背景から際立たせて撮影できます。
昼間の屋外での撮影に適しており、ズーム位置はできるだけT側(望遠)にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶと、より効果が出ます。

1 モードダイヤルをポートレート [] にする

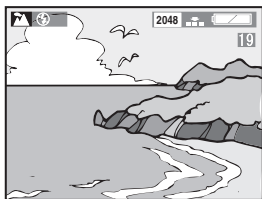
2 撮影する

背景　　被写体を近く

お願い/ヒント

- ポートレートモード時のホワイトバランスのAUTO設定は昼間の屋外での撮影を重視しているので、屋内で使用すると、色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスはお好みによりメニュー変更することができます。(P45)

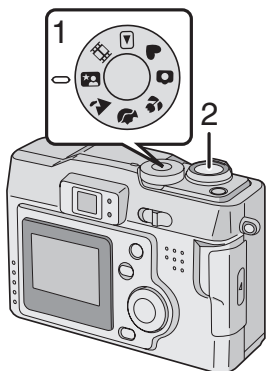
遠くの風景を撮る(風景モード)

遠くの風景をきれいに撮影したいときに使用するモードです。屋外で被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。窓ガラス越しでも、遠くの風景を撮影することができます。

1 モードダイヤルを風景［ ］にする

2 撮影する

撮る・シーンモード

お願い/ヒント

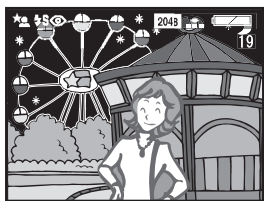
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- 被写体までの距離が約 10 m ～∞ (T 端時)、約 3 m ～∞ (W 端時)でピントが合います。
- 風景モード時のホワイトバランスのAUTO設定は昼間の屋外での撮影を重視しているので、屋内で使用すると、色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスはお好みによりメニュー変更することができます。(P45)

夜景を背景に撮る（夜景ポートレートモード）

夜景をバックに人物などを撮影したいときに設定します。フラッシュとスローシャッターを使うことにより、人物と共に背景も見た目に近い明るさに露出されます。

1 **モードダイヤルを夜景ポートレート [ ] にする**

2 **撮影する**

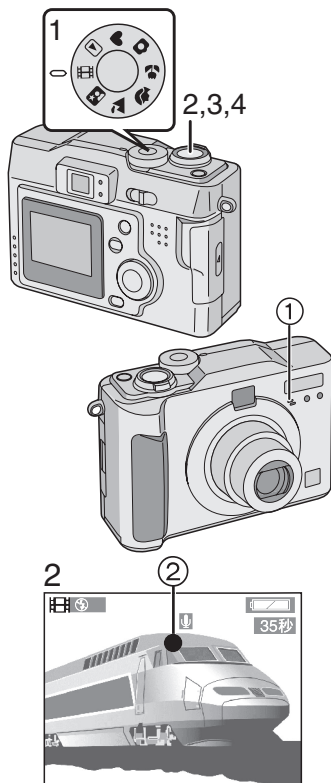
夜景ポートレート撮影のコツ

- スローシャッターになるため、三脚の使用をおすすめします。
- フラッシュ発光後、約 1 秒間はカメラを動かしたり、被写体の人に動かないように伝えてください。
- 被写体をフラッシュが届く範囲（約 30 cm ～ 2.4 m（W 端時）、約 50 cm ～ 140 cm（T 端時））で撮影してください。
- 広角で撮影することをおすすめします。

夜景だけを撮影する場合

- フラッシュを発光禁止 [ ] に設定すると、夜景だけを撮影することができます。
  シャッタースピードは最大約8秒になります。

お願い/ヒント

- 被写体によっては撮影後に「しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示され、シャッターが閉じたままになることがあります。これは信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
  ノイズが気になるときは、画質調整を[ナチュラル]（P53）にすることをおすすめします。

動画を撮る

動画を撮影することができます。（付属の SD メモリーカード 16MB の場合、約80秒記録することができます）

1 モードダイヤルを動画［ ］にする

2 被写体が液晶モニターに入るように合わせ、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、フォーカス表示②［●］が画面に点灯します。

3 シャッターボタンを全押しして撮影を開始する

- 音声も同時に記録が始まります。（本機の内蔵マイク ① より録音されます）

4 再度シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中でカードのメモリーがいっぱいになると自動的に撮影が終了します。

撮る・シーンモード

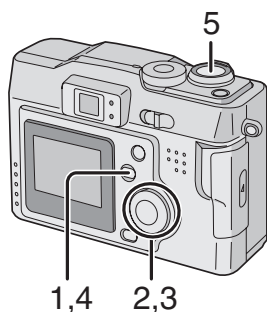
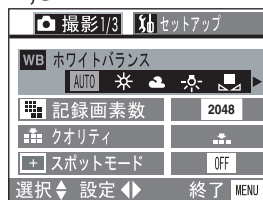
お願い/ヒント

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビまたはパソコンに接続してください。**（P79, 80）
- 記録画素数は 320 × 240 画素に固定されます。
- 液晶モニターに表示される残り時間は、めやすです。
- 動画撮影中はズーム操作できません。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後に、フラッシュ/ アクセスランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。
- オートフォーカス / ズーム / ホワイトバランス / 絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カードの種類によっては、動画撮影のときに、途中で撮影が終了する場合があります。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 動画 [ ] のときは、レビューが使えません。

撮影モード別設定可能機能一覧

	(カメラ)	(ハート)	(マクロ)	(ポートレート)	(風景)	(夜景ポートレート)	(動画)	参照ページ
セルフタイマー	○	○(10秒のみ)	○	○	○	○	×	P34
連写	○	低速固定	○	○	○	○	×	P35
ホワイトバランス	○	AUTO固定	○	○	○	○	AUTO固定	P45
記録画素数	○	画質設定	○	○	○	○	320×240	P47
クオリティ(圧縮率)	○	画質設定	○	○	○	○	×	P47
スポットモード	○	×	○	○	○	○	×	P48
ISO感度	○	AUTO固定	○	○	○	○	AUTO固定	P49
音声記録	○	×	○	○	○	○	ON固定	P50
デジタルズーム	○	×	○	○	○	○	○	P51
カラーエフェクト	○	×	○	○	○	○	×	P52
画質調整	○	×	○	○	○	○	×	P53
露出補正	○	×	○	○	○	○	×	P54
オートブラケット	○	×	○	○	○	○	×	P55

○：設定可
×：設定不可

自然な色合いに調整して撮る（ホワイトバランス）

2,3

オートホワイトバランスにより、自動で自然な色合いに撮ることができますが、場面の状態や光源によっては、自動で自然な色合いに撮れないことがあります。このような場合に手動でホワイトバランスを設定します。

[準備]

• モードダイヤル（▶/♥/🎞以外）を選んでおく。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼で[ホワイトバランス]を選ぶ**

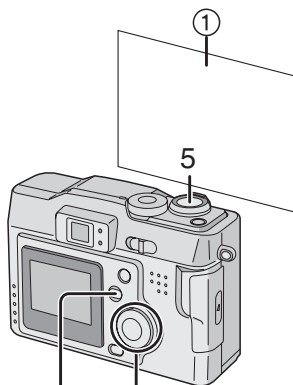
3 **◀/▶ でモードを選ぶ**

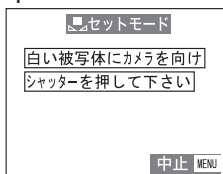
- AUTO：
  自動で設定するとき
- ☀（晴天）：
  屋外晴天下で撮影するとき
- ☁（曇り）：
  曇天や日陰で撮影するとき
- 💡（白熱灯）：
  白熱灯下で撮影するとき
- ⊿（セットモード）：
  手動で設定するとき（詳しい設定方法については次ページをご覧ください）

4 **[MENU] ボタンを押す**

- メニュー画面が消えます。

5 **撮影する**

自然な色合いに調整して撮る（ホワイトバランス）（つづき）

2,3

4

■ 手動で設定するとき（セットモード）

[準備]

• モードダイヤル（▶/♥/🎞以外）を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[ホワイトバランス]を選ぶ

3 ◀/▶ でセットモード[ ]を選ぶ

新しくホワイトバランスを設定したいときのみ

4 ▶ を押す

• 「白い被写体にカメラを向けシャッターを押して下さい」というメッセージが表示されます。

5 白い紙 ① などにカメラを向けて、画面全体が白くなるようにし、シャッターボタンを全押しする

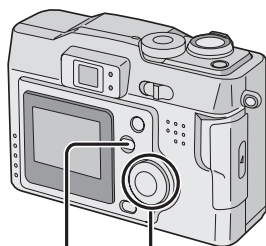
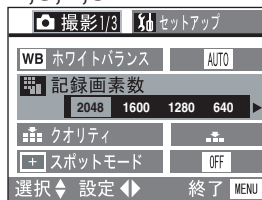
• ホワイトバランスが設定されます。

6 [MENU] ボタンを押す

• メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

• ホワイトバランスの設定は、他の撮影モードにも反映されます。
• かんたんモード [♥] または動画 [🎞] のときは、[AUTO] に固定されます。
• フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（AUTO、 （白熱灯）のみ）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
• セットモードでホワイトバランスを設定した場合、フラッシュ撮影すると、ホワイトバランスが合わないことがあります。フラッシュ撮影時はホワイトバランスを[AUTO] に設定することをおすすめします。

画質と記録枚数を変える（記録画素数 / クオリティ）

2,3,4,5

記録画素数/クオリティと記録枚数

	SDメモリーカード			
	16MB（付属）		64MB（別売）	
記録画素数	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
2048×1536	約 10枚	約 20枚	約 45枚	約 88枚
1600×1200	約 17枚	約 34枚	約 74枚	約149枚
1280×960	約 22枚	約 43枚	約 96枚	約184枚
640×480	約 69枚	約129枚	約298枚	約553枚
動画	約 80秒		約 350秒	

- 記録枚数はめやすです。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は撮影された枚数分、減少しない場合があります。

４種類の記録画素数、２種類のクオリティ(圧縮率)の中から、目的に合わせて選ぶことができます。

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [記録画素数] を選ぶ

3 ◀/▶ で記録画素数を選ぶ

4 ▲/▼ で [クオリティ] を選ぶ

5 ◀/▶ でクオリティ（圧縮率）を選ぶ

- ファイン：ファイン(低圧縮)
  画質を優先し、高画質に記録します。
- スタンダード：スタンダード(標準圧縮)
  撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。

6 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

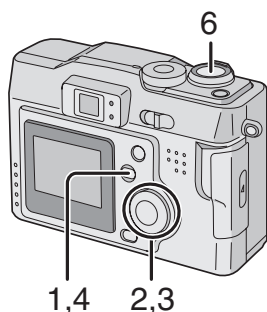
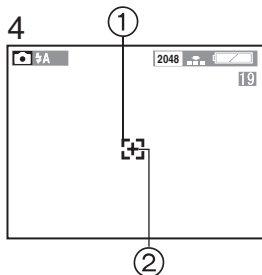
お願い/ヒント

- 記録画素数は、動画 [🎞] のときは、320 × 240 画素に固定されます。
- 小さい記録画素数を選ぶと、1 枚のメモリーカードにより多く記録できます。また、データ容量が小さいので、電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに有効です。
- 大きい記録画素数を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。
- シーンによってはモザイク状になることがあります。

撮る・応用

スポットモードで撮る

2,3

4

限られた範囲内にピントと露出を合わせることができます。逆光時など、明暗差が激しい被写体を撮影する場合に便利です。

[準備]

• モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼ で [スポットモード] を選ぶ**

3 **▶ で [ON] を選ぶ**

4 **[MENU] ボタンを押す**

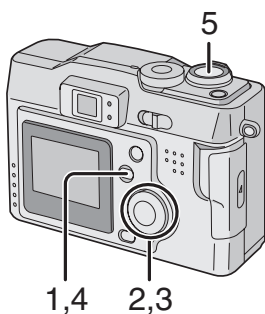
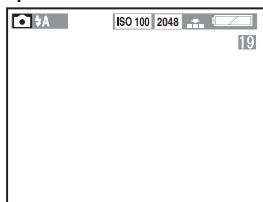
- メニュー画面が消えます。
- スポットAFエリア①とスポット測光ターゲット表示②が画面に出ます。

5 **被写体をスポットAFエリアに合わせる**

6 **撮影する**

📖 お願い/ヒント

- 被写体が暗いときは、ピントが通常より合いにくい場合があります。
- スポットAFエリアでの最適な露出に設定されますので、被写体によっては周りが暗く映ったり、逆に白っぽくなる場合があります。
- 被写体がスポットAFエリアから外れる場合は、AF/AE ロック撮影(P29)を行ってください。

ISO 感度を設定して撮る

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。フラッシュを使用できない場所や暗い場所での撮影に、ISO 感度を変えることができます。

2,3

4

[準備]

- モードダイヤル（▶/♥/🎞以外）を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [ISO 感度] を選ぶ

3 ◀/▶ で感度を選ぶ

- AUTO：明るさに応じて ISO 感度を自動的に上げていきます。それでも画像が暗いときは、フラッシュを使用してください。
- 50： ISO50
- 100：ISO100
- 200：ISO200
- 400：ISO400

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

5 撮影する

お願い/ヒント

- かんたんモード[♥]または動画[🎞]のときは、[AUTO] に固定されます。
- ISO 感度を高くして撮影すると、画面にノイズが増えて、画質が劣化します。
- ノイズが気になるときは、画質調整を[ナチュラル]（P53）にすることをおすすめします。

撮る・応用

音声付き静止画を撮る

1 度の撮影で約 5 秒間の音声が入った画像を撮ることができます。

2,3

4

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [音声記録] を選ぶ

3 ▶ で [ON] を選ぶ

4 [MENU] ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。
- 液晶モニターに[🎙]が表示されます。

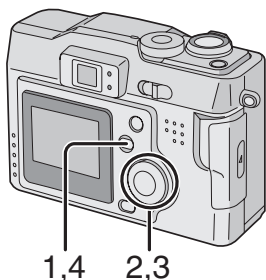
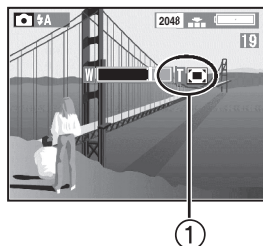
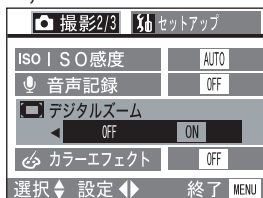
5 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 音声は本機の内蔵マイク ① より録音されます。
- 約 5 秒間録音後、自動的に終了します。
- 録音中に [MENU] を押すと解除されます。音声は記録されません。

📖 お願い/ヒント

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビまたはパソコンに接続してください。**(P79)
- オートブラケットを設定していると、音声付き静止画を撮ることができません。(P55)
- 連写のときは、音声付き静止画を撮ることができません。(P35)
- 音声付き静止画はリサイズ(P75)、トリミング(P76)できません。

さらに拡大して撮る(デジタルズーム)

2,3

光学 3 倍、デジタル 3 倍の最大 9 倍まで拡大が可能になります。

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥以外)を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[デジタルズーム]を選ぶ

3 ▶ で [ON] を選ぶ

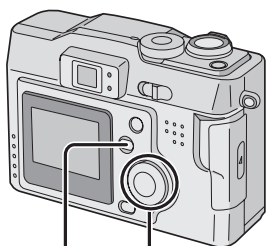
4 [MENU] ボタンを押す

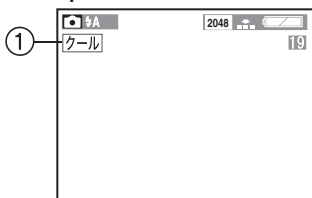
- メニュー画面が消えます。

- ズームの調整や撮影手順は、「大きく(望遠)または広く(広角)撮る」(P31)と同じです。
- デジタルズームを[ON]にすると、デジタルズーム表示 ① が出ます。
- 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム位置表示のバーが停止します。
その状態でズームレバーをT側に押し続けるか、一度ズームレバーを離して再度 T 側にレバーを押すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

お願い/ヒント

- 液晶モニターが消灯しているときはデジタルズームは解除されます。
- デジタルズーム使用時は三脚の使用をおすすめします。
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。

カラーエフェクトを設定する

2,3

4

3 種類の色彩効果が得られます。
撮影イメージに合わせて使い分けてください。

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼ で [カラーエフェクト] を選ぶ**

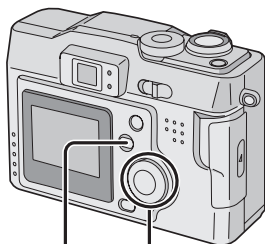
3 **◀/▶ で [OFF]、[クール]、[ウォーム] または [白黒] を選ぶ**

- クール:青みがかった画像になります。
  冬の冷たいイメージなどを表現したいときに使います。
- ウォーム:赤みがかった画像になります。
  暖かみのあるイメージを表現したいときに使います。
- 白黒:白黒画像になります。

4 **[MENU] ボタンを押す**

- メニュー画面が消えます。
- 液晶モニターにクール/ウォーム/白黒 ① が表示されます。

画像の色調やコントラストを調整する（画質調整）

2,3

画像の色調やコントラストを調整することができます。撮影イメージに合わせて使い分けてください。

[準備]

• モードダイヤル（▶/♥/🎞以外）を選んでおく。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [画質調整] を選ぶ

3 ◀/▶ で[ナチュラル]、[標準]または[ヴィヴィッド]を選ぶ

• ナチュラル：
より柔らかいイメージの画像になります。

• ヴィヴィッド：
よりくっきりとしたイメージの画像になります。

4 [MENU] ボタンを押す

• メニュー画面が消えます。

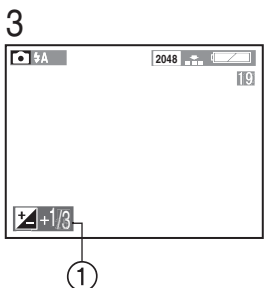
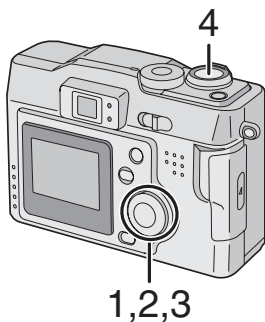
撮る・応用

お願い/ヒント

• かんたんモード[♥]または動画[🎞]のときは、画質調整は設定できません。
• 暗い場面で撮影したいとき、ノイズが目立つことがあります。
ノイズが気になるときは、画質調整を[ナチュラル]にすることをおすすめします。

露出を補正して撮る

2

3

被写体と背景の明るさにきわめて大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

[準備]

• モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 [±] ボタンを押す

2 ◀/▶ で露出を補正する

• − 2EV から＋ 2EV の範囲で 1/3EV ステップで補正できます。＋側に補正すると明るめに、−側に補正すると暗めに写ります。
(EV とは Exposure Value の略で、露出量を表す単位です)
• EV を変更すると、絞り値またはシャッタースピードが変わります。
• 液晶モニターの明るさと実際に撮影された画像の明るさは異なる場合があります。再生画像で確認してください。

3 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

• 調整画面が消えます。
• 液晶モニターに露出補正値 ① が表示されます。

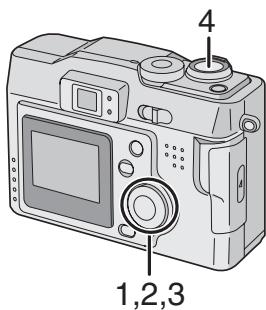
4 撮影する

📖 お願い/ヒント

• 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。

オートブラケットで撮る(AEブラケット撮影)

2

3

1回シャッターを押すと、設定された露出補正量の幅に従って、カメラが露出を変えながら自動的に3枚撮影します。

[準備]

- モードダイヤル(▶/♥/🎞以外)を選んでおく。

1 [±/▤] ボタンを 2 回押して [▤ オートブラケット] を選ぶ

---

2 ▶ を押したあと、◀/▶ で露出の補正量を決める

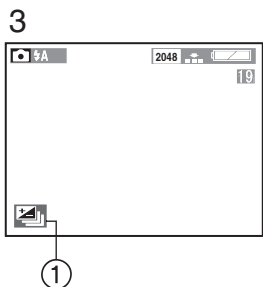
- OFF
- − 1EV ～＋ 1EV (1/3EV ステップ)

---

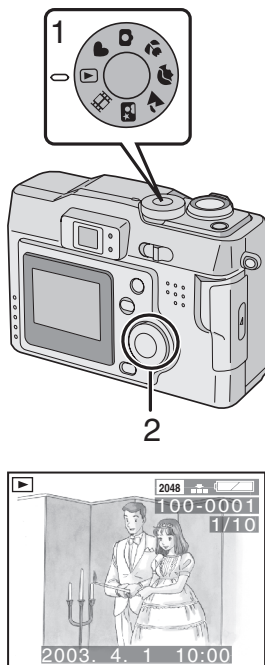
3 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 調整画面が消えます。
- 液晶モニターにオートブラケット ① が表示されます。

---

4 撮影する

📖 お願い/ヒント

- 一度撮影すると自動的に解除されます。
- フラッシュが発光する場合は1枚しか撮れません。そのとき、オートブラケットの設定は解除されません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮ることができません。
- 連写とオートブラケットが同時選択されている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケット撮影で露出補正できない場合があります。

撮影した静止画を再生する

1　モードダイヤルを再生 [▶] にする

- 最後に撮影した画像が再生されます。

2　◀ で前の画像を再生する
▶ で次の画像を再生する

- 押すごとに前の(次の)画像が再生されます。
- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。

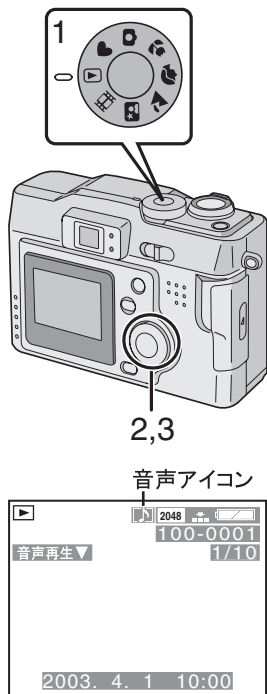
■ 早送り / 早戻しする

再生中に ◀/▶ を押し続ける
▶:早送り
◀:早戻し

- ファイル内の番号が増/減していきます。◀/▶ を離すとその番号の画像が表示されます。

お願い/ヒント

- 本機は電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 DCF(Design rule for Camera File system) に準拠しています。
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。(JPEG 形式でも再生できないものもあります)
- 他機で撮影された静止画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。

音声付き静止画を再生する

テレビに接続すると(P79)、音声付きで静止画を再生することができます。

1 モードダイヤルを再生 [▶] にする

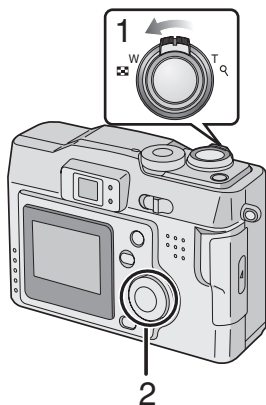
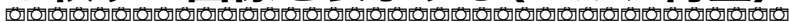
2 ◀/▶ で音声アイコン[♪]が付いた画像を選ぶ

3 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して音声を再生する

お願い/ヒント

- 本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビに接続してください。(P79)
- パソコンで音声を再生したいときは 80 ページをお読みください。

見る

９枚ずつ画像を表示する(マルチ再生)

１画面に９枚の画像を表示することができます。

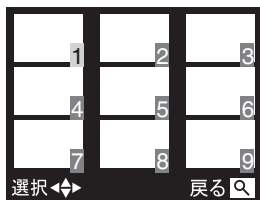
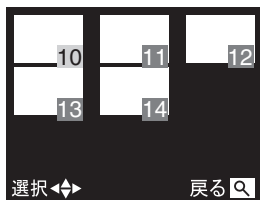
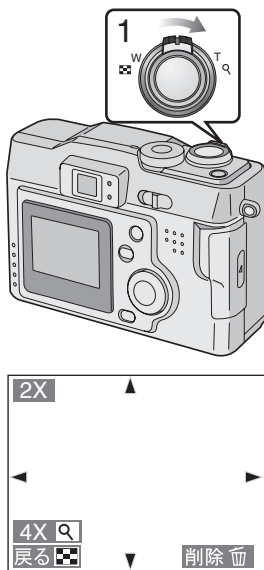
[準備]

• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 画像再生中に、ズームレバーを [⊞] の方に動かす

• マルチ再生(９コマ)になります。

2 ▲/▼/◀/▶ で画像を送る

• １画面表示に戻るときはズームレバーを [🔍] の方に動かしてください。黄色で表示された番号の画像が１画面表示されます。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

再生中の画像を拡大して表示することができます。(2倍/4倍/8倍/16倍)

[準備]

• モードダイヤルを再生[▶]にする。

1　画像再生中に、ズームレバーを[🔍]の方に動かす

- ズームレバーを[🔍]の方に動かすごとに、ズーム倍率が大きくなります。
- ズームレバーを[▦]の方に動かすごとにズーム倍率が小さくなります。
- ▲/▼/◀/▶　で拡大位置を変えることができます。

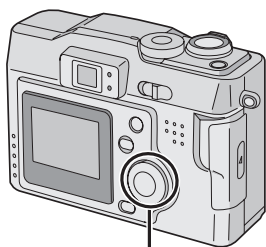
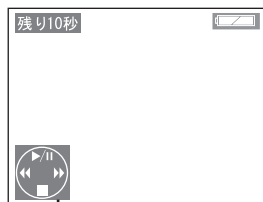
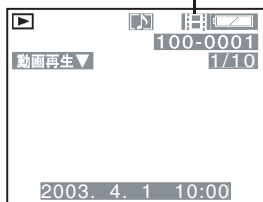
■ 再生ズーム中に画像を削除する

[🗑]ボタンを押す
「この画像を削除しますか?」というメッセージが出たら、◀で「はい」を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。(P61)

お願い/ヒント

- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像は、再生ズームできない場合があります。

見る

撮影した動画を再生する

[準備]

• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 ◀/▶ で動画アイコン[🎞]が付いたファイルを選ぶ

2 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して動画を再生する

• ▼ を押すと停止します。

■ 早送り / 早戻しする

動画再生中に ◀/▶ を押し続ける

▶ : 早送り

◀ : 早戻し

• 離すと通常の動画再生に戻ります。

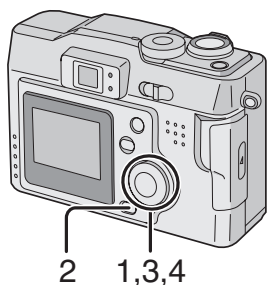
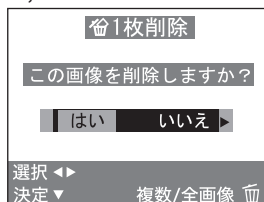
■ 一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

• もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

お願い/ヒント

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビまたはパソコンに接続してください。**(P79, 80)
- 動画再生中や一時停止中、再生ズームはできません。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG ファイルを本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

画像を削除する

カードに記録された画像を削除します。
画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。

[準備]

- モードダイヤルを再生 [▶] にする。
- プロテクト設定を解除しておく。（P64）

[1 枚削除]

1 ◀/▶ で削除したい画像を選ぶ

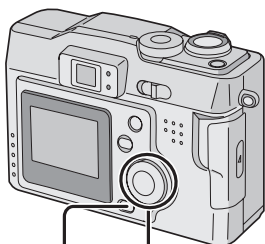
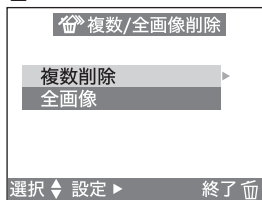
2 [ ] ボタンを押す

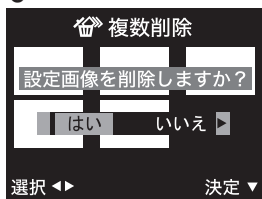
3 ◀ で [はい] を選ぶ

4 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 選択した画像が削除されます。

見る

使いこなす

2

3,4(複数画像削除)

6

[複数削除]

一度に削除できるのは 50 枚までです。

画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。

1 **[🗑] ボタンを 2 回押す**

2 **[複数削除] を選び、▶ を押す**

3 **◀/▶ で削除したい画像を選ぶ**

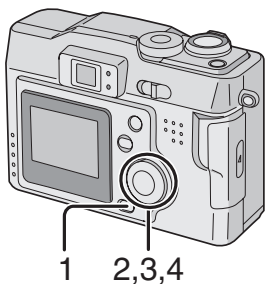
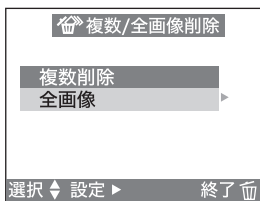
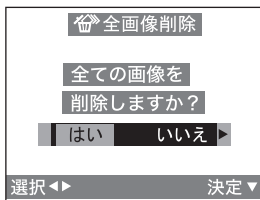
4 **▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す**

- 設定した画像に [🗑] が表示されます。再度▼/[REVIEW/SET]を押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると設定した画像に [🔑] アイコンが赤く点滅し、画像を削除できません。プロテクト設定を解除しておいてください。(P64)

5 **[🗑] ボタンを押す**

6 **「設定画像を削除しますか?」というメッセージが出たら、◀ で [はい] を選ぶ**

7 **▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す**

- 選択された複数枚の画像が一度に削除されます。

2
3（全画像削除）
[全画像削除]

画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。

1　[🗑] ボタンを 2 回押す

2　▼で[全画像]を選び、▶を押す

3　「全ての画像を削除しますか？」というメッセージが出たら、◀ で [はい] を選ぶ

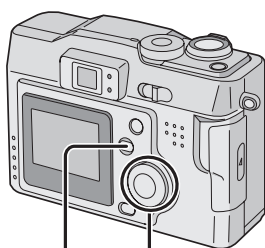
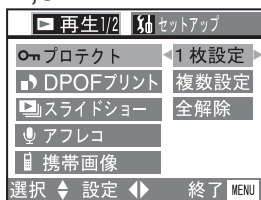
4　▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- プロテクトされた画像 (P64)、DCF 規格外のファイルは削除されません。

お願い/ヒント

- 削除中は電源を [OFF] にしたり、カードを抜かないでください。
- 電池残量（P17）が少ないときや一度に多くの画像を削除するときは、十分残量のある電池または別売の AC アダプター /DMW-AC1 を使用してください。

使いこなす

カードの画像をプロテクトする

カードに記録した大切な画像を誤って削除しないように、プロテクトすることができます。

[準備]

• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

[1 枚設定 / 解除]

1 **[MENU] ボタンを押す**

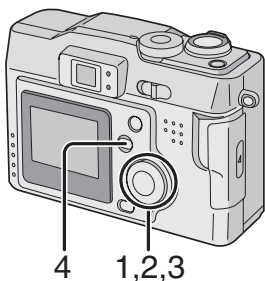
2 **▲/▼ で[プロテクト]を選び、▶ を押す**

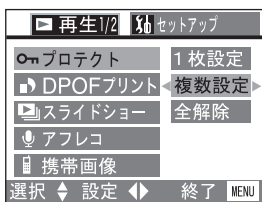
3 **[1 枚設定] を選び、▶ を押す**

4 **◀/▶ で画像を選ぶ**

5 **▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す**

• プロテクトアイコン表示 ① で設定、再度▼/[REVIEW/SET]ボタンを押すとプロテクトアイコンが消えて解除できます。

6 **[MENU] ボタンを 2 回押す**

• メニュー画面が消えます。

1

2

3

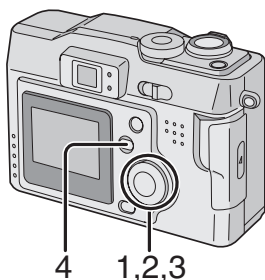
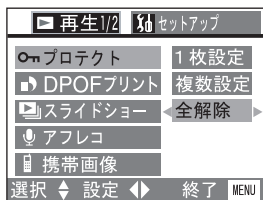
[複数設定 / 解除]

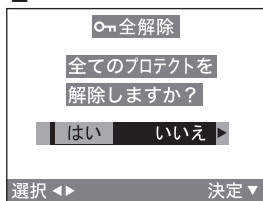
1 ▲/▼で[複数設定]を選び、▶を押す

2 ◀/▶ で画像を選ぶ

3 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す
- プロテクトアイコン表示で設定、再度▼/[REVIEW/SET]ボタンを押すとプロテクトアイコンが消えて解除できます。

4 手順2と3を繰り返し、最後に[MENU] ボタンを 2 回押す
- 複数枚の画像が一度にプロテクトされます。
- メニュー画面が消えます。

カードの画像をプロテクトする(つづき)

1

2

[全解除]

1 ▲/▼で[全解除]を選び、▶を押す

2 「全てのプロテクトを解除しますか？」というメッセージが出たら、◀で[はい]を選ぶ

3 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す
- すべてのプロテクトが解除されます。

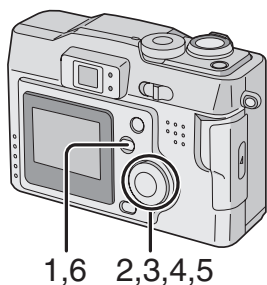
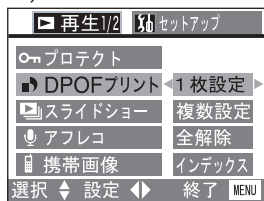
4 [MENU] ボタンを押す
- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。
- プロテクトされたファイルを削除しようとすると、「この画像はプロテクトされています」または「プロテクトされた画像は削除できませんでした」というメッセージが表示され、削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 本機以外では無効になる場合がありますので、お気を付けください。
- プロテクト設定をしていなくても、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。
- プロテクトされている画像にはアフレコはできません。(P72)

プリント情報をカードに書き込む（DPOF プリント設定）

2,3

4

5

プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF プリントデータ）をカードに書き込むことができます。
DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにカードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

[準備]

• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

[1 枚設定]

1　[MENU] ボタンを押す

2　▲/▼ で [DPOF プリント] を選び、▶ を押す

3　[1 枚設定] を選び、▶ を押す

4　◀/▶ で画像を選ぶ

5　▲/▼ でプリント枚数を選ぶ

• プリント枚数は 1 ～ 999 枚まで設定できます。

6　[MENU] ボタンを 2 回押す

• メニュー画面が消えます。

[1 枚解除]

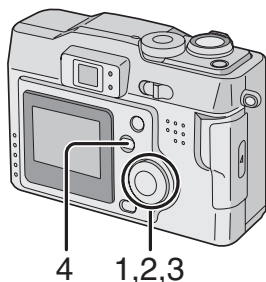
「1 枚設定」の手順5でプリント枚数を 0 にすると、解除設定できます。

プリント情報をカードに書き込む（DPOF プリント設定）（つづき）

1

2

3

プリント枚数設定表示（P87）

[複数設定]

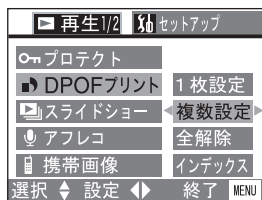
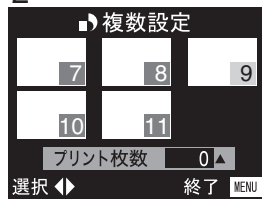
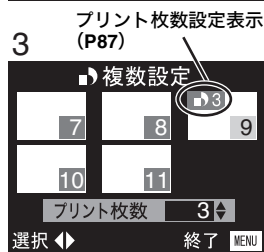
1　▲/▼で[複数設定]を選び、▶を押す

2　◀/▶ で画像を選ぶ

3　▲/▼ でプリント枚数を選ぶ

- プリント枚数は 1 ～ 999 枚まで設定できます。

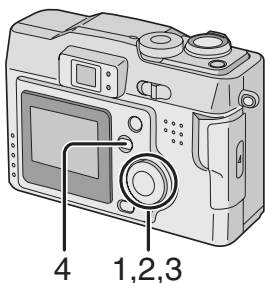
4　手順2と3を繰り返し、最後に[MENU] ボタンを 2 回押す

- 複数枚の画像が一度に DPOF 設定されます。
- メニュー画面が消えます。

[複数解除]

「複数設定」の手順5でプリント枚数を 0 にすると、解除設定できます。

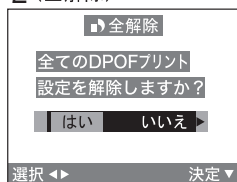
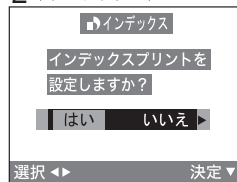
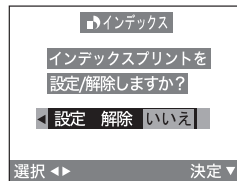
お願い/ヒント

- DPOFプリントの設定はスライドショーの DPOF 設定には反映されません。
- DCF 規格に準拠していないファイルは DPOF プリント設定できません。（DCF とは Design rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です）
- 本機で DPOF プリント設定すると、他機種で設定された DPOF 情報はすべて解除され、本機の DPOF 設定が上書きされます。
- 「メモリーカード残量がありません」というメッセージが表示されたら、不要なファイルを削除してから再度DPOFプリント設定してください。

1

（例：全解除を選んだ場合）

2（全解除）

2（インデックス）

[全解除]

1 ▲/▼で[全解除]を選び、▶を押す

2 「全てのDPOFプリント設定を解除しますか？」というメッセージが出たら、◀で[はい]を選ぶ

3 ▼/[REVIEW/SET]ボタンを押す

- すべてのDPOFプリント設定が解除されます。

4 [MENU]ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

[インデックス設定/解除]

1 ▲/▼で[インデックス]を選び、▶を押す

2 「インデックスプリントを設定しますか？」というメッセージが出たら、◀で[はい]を選ぶ

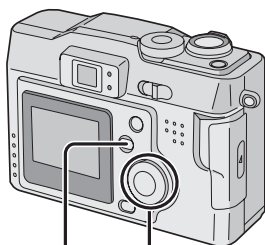
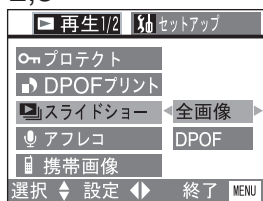
- すでにインデックスが設定されている場合は、「インデックスプリントを設定/解除しますか？」というメッセージが出ますので、◀/▶で[設定]または[解除]を選んでください。

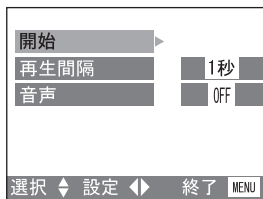
3 ▼/[REVIEW/SET]ボタンを押す

- すべての画像が設定/解除されます。

4 [MENU]ボタンを押す

- メニュー画面が消えます。

スライドショーを見る(自動再生)

2,3

(例:全画像を選んだ場合)

4

(例:全画像を選んだ場合)

5

カード内の指定した画像を自動的に連続させて見ることができます。

[準備]

• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[スライドショー]を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [全画像] または [DPOF] を選び、▶ を押す

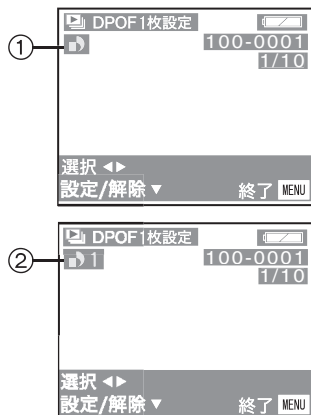
- 全画像:すべての画像を見る
- DPOF:手順4で DPOF スライドショー設定した画像を見る

4 ▲/▼/◀/▶ で [再生間隔]/[音声]/[DPOF 設定] または [全解除] を設定する

- 再生間隔:1、2、3、5 秒の中から設定できます。
- 音声:[ON] または [OFF] を設定できます。[ON] を選ぶと、音声付き静止画をスライドショーさせることができます。
- DPOF 設定(手順3で[DPOF]を選んだときのみ):スライドショーさせたい画像を選ぶことができます。
- 全解除(DPOF 設定したときのみ):DPOF スライドショー設定を解除できます。

5 [開始] を選び、▶ を押す

- スライドショーが始まります。
- [MENU] を押すと終了します。

- DPOF スライドショー設定を行うと、DPOF マークが緑色 ① で表示されます。
- DPOF プリントが設定されている画像に DPOF スライドショー設定を行うと DPOF マークとプリント枚数が緑色 ② で表示されます。
- DPOF プリントのみが設定されている場合は、DPOF マークが白くなります。

■ SD スライドショーについて

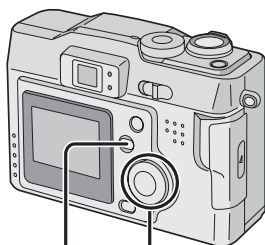
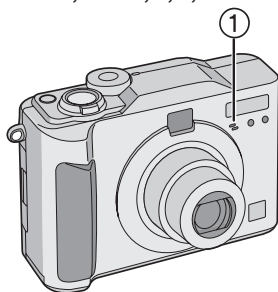
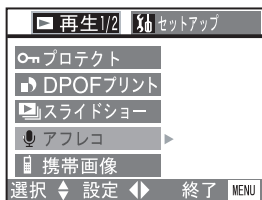
付属の CD-ROM のソフトウェア「SD Viewer for DSC」で編集された SD スライドショーのデータが記録されているカードを本機に入れ、再生モードで電源を入れると、「SD スライドショーを開始しますか？」というメッセージが出ます。「はい」を選んで ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押すと、SD スライドショーが始まります。通常再生にするときは「いいえ」を選んで ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。

お願い/ヒント

- スライドショーで動画再生はできません。
- スライドショーの DPOF 設定は、DPOF プリントの設定には反映されません。
- DPOF 設定しないで DPOF スライドショーはできません。
- [音声] を [ON] に設定したとき、音声記録時間が [再生間隔] の設定時間より長い場合、音声再生終了後、次の画像に切り換わります。
- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビに接続してください。(P79)**
- 付属のソフト [SD Viewer for DSC] で DPOF 設定された画像は本機では DPOF スライドショーできません。DPOF スライドショー設定は本機で行ってください。
- 本機で DPOF スライドショー設定すると、他機種で設定された DPOF 情報はすべて解除され、本機の DPOF 設定が上書きされます。

撮影したあとに音声を入れる(アフレコ)

撮影した画像に、後から音声を入れることができます。(10 秒まで)

[準備]
• モードダイヤルを再生 [▶] にする。

2

3,4

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼で[アフレコ]を選び、▶を押す

3 ◀/▶ で画像を選ぶ

4 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して、録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、アフレコすると元の音声はなくなります。
- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか?」というメッセージが出ます。◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して録音を開始してください。
- 音声は本機の内蔵マイク ① より録音されます。

5 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して、録音を終了する

- ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押さなくても、約 10 秒間録音すると、自動的に終了します。

6 [MENU] ボタンを 2 回押す

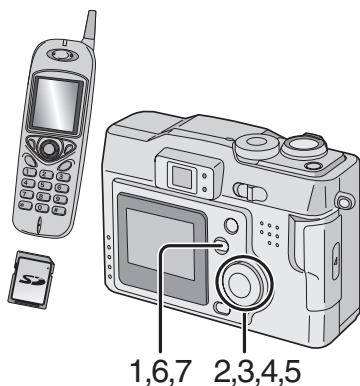
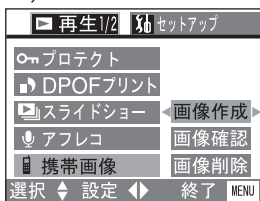
- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- **本機のみでの音声再生はできません。音声を再生したいときはテレビに接続してください。(P79)**
- 動画にアフレコすることはできません。
- プロテクトされている画像にはアフレコはできません。(P64)

携帯電話 /feel H”(H”) に添付する画像をカードに書き込む(携帯画像)

SD メモリーカードスロット付きの一部の携帯電話 /feel H”(H”) へ SD メモリーカード経由で受け渡しするための画像(320 × 240 画素)を作成します。作成された画像を携帯電話 /feel H”(H”) の DPOF 機能により簡単にメールに添付することができます。詳しくは携帯電話 /feel H”(H”) の取扱説明書をお読みください。

対応機種(2003 年 3 月現在);
KX-HS100、KX-HF300、KX-HS110、KX-HV50、KX-HV200、KX-HV210

2,3

4,5

[準備]

- モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼で[携帯画像]を選び、▶を押す**

3 **[画像作成] を選び、▶ を押す**

4 **◀/▶ で画像を選ぶ**

5 **▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す**

- 選択した画像が設定されます。
- 必要枚数分繰り返してください。(最大９枚まで)

6 **[MENU] ボタンを押す**

- 約 2 秒間設定した画像が表示されます。

7 **[MENU] ボタンを押す**

- メニュー画面が消えます。
- 設定されているすべての画像を削除すると、再度、携帯画像を作成することができます。

1

再生1/2 セットアップ
プロテクト
DPOFプリント
スライドショー　画像作成
アフレコ　画像確認
携帯画像　画像削除
選択　設定　終了 MENU

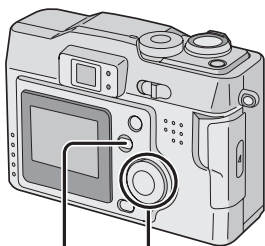
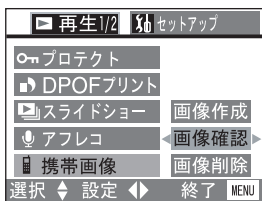
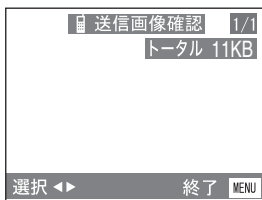
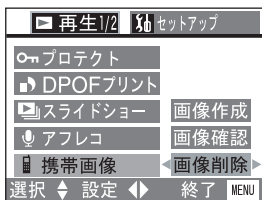
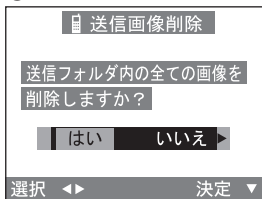
2

送信画像確認 1/1
トータル 11KB
選択　終了 MENU

4

再生1/2 セットアップ
プロテクト
DPOFプリント
スライドショー　画像作成
アフレコ　画像確認
携帯画像　画像削除
選択　設定　終了 MENU

5

送信画像削除
送信フォルダ内の全ての画像を
削除しますか？
はい　いいえ
選択　決定

[送信用画像を確認する]

1 ▲/▼で[画像確認]を選び、▶を押す

2 ◀/▶ で画像を送り、確認する

■ 送信用画像を削除するときは

3 [MENU] ボタンを押す

4 ▲/▼で[画像削除]を選び、▶を押す

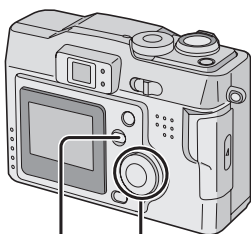
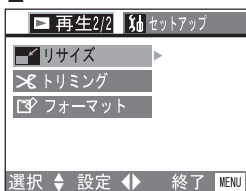
5 「送信フォルダ内の全ての画像を削除しますか？」というメッセージが出たら、◀ で [はい] を選ぶ

6 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す
- 送信フォルダ内のすべての画像が削除されます。

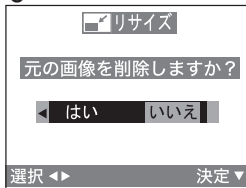
7 [MENU] ボタンを押す
- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- 携帯電話添付用画像の画像サイズは [320 × 240] 画素に設定されています。
- 設定されているすべての画像を削除すると、再度、携帯画像を作成することができます。
- 他機で撮影した画像から携帯画像を作成できない場合があります。
- 動画の画像や音声付き画像から携帯画像を作成できません。
- 画像転送前に、画像を確認してください。

画像のサイズを変える(リサイズ)

2

3

4

6

撮影した画像のサイズを小さくすることができます。E メール添付やホームページ用に画像容量を小さくしたいときなどにこの機能の使用をおすすめします。

[準備]

- モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [リサイズ] を選び、▶ を押す

3 ◀/▶ で画像を選び、▼を押す

4 ◀/▶ で変更したいサイズを選ぶ

- 1600 :1600 × 1200
- 1280 :1280 × 960
- 640 : 640 × 480

5 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してサイズを決定する

6 「元の画像を削除しますか？」というメッセージが出たら、◀/▶ で [はい] または [いいえ] を選ぶ

7 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

8 [MENU] ボタンを 2 回押す

- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

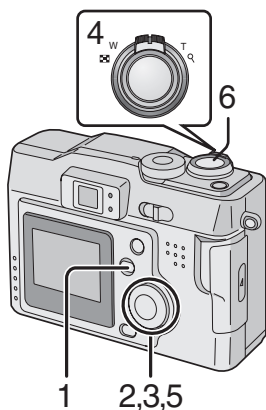
- サイズが [640 × 480] 画素以下の画像、および縦横比が4:3以外の画像はリサイズできません。
- 動画の画像や音声付き画像は、リサイズできません。
- 他機で撮影した画像は、リサイズできない場合があります。

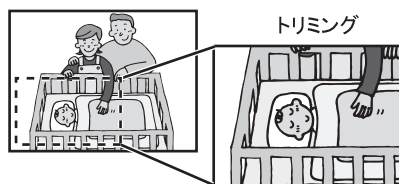
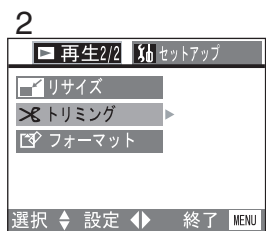
使いこなす

画像を切り抜く(トリミング)

2

3

4,5,6

必要な部分のみを切り抜いて(トリミング)、引き伸ばすことができます。

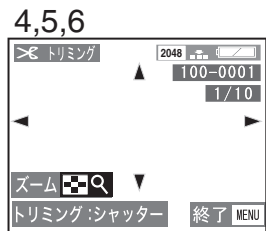
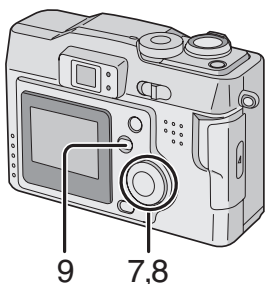
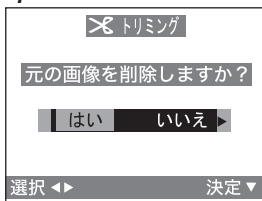
[準備]

• モードダイヤルを再生 [(▶)] にする。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で[トリミング]を選び、▶ を押す

3 ◀/▶ で画像を選び、▼を押す

4 ズームレバーを [🔍](ズームイン)または [▦](ズームアウト)の方に動かす

5 ▲/▼/◀/▶ で画像を動かす

6 シャッターボタンを押して決定する

7

7 「元の画像を削除しますか？」というメッセージが出たら、◀/▶ で [はい] または [いいえ] を選ぶ

8 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

9 [MENU] ボタンを 2 回押す

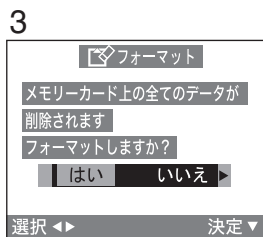
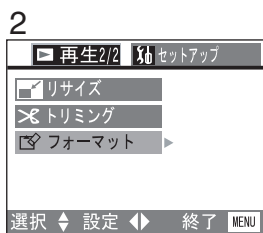
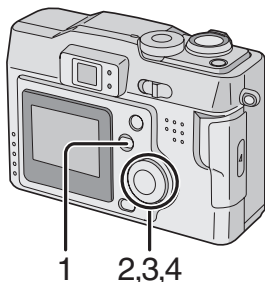
- メニュー画面が消えます。

お願い/ヒント

- サイズが [640 × 480] 画素未満の画像、および縦横比が4:3以外の画像はトリミングできません。
- 他機で撮影した画像は、トリミングできない場合があります。
- 動画の画像や音声付き静止画は、トリミングできません。
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと、画質が劣化します。

カードをフォーマットする

2

3

通常、カードはフォーマット(初期化)する必要はありません。「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合にフォーマットしてください。

- パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合も再度本機でフォーマットしてください。
- プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。

[準備]

- モードダイヤルを再生 [▶] にする。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **▲/▼ で [フォーマット] を選び、▶ を押す**

3 **「メモリーカード上の全てのデータが削除されます フォーマットしますか?」というメッセージが出たら、◀ で [はい] を選ぶ**

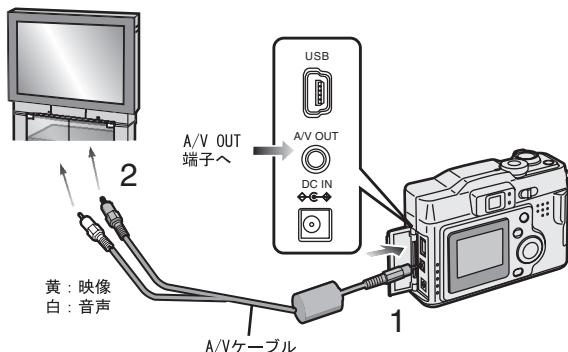
4 **▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す**

- カードがフォーマットされます。

お願い/ヒント

- フォーマット中は電源を切らないでください。
- カードがフォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。
- フォーマットするときは十分残量のある電池または別売の AC アダプター /DMW-AC1 を使用してください。

テレビに画像を映して再生する

付属のA/Vケーブルを使って本機とテレビを接続すると、テレビに画像を表示して再生ができます。

[準備]

• 電源スイッチを [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機の A/V OUT 端子に A/V ケーブルを確実に接続する

2 テレビの映像入力端子と音声入力端子に A/V ケーブルを接続する

3 テレビの電源を入れ、「外部入力」にする

4 電源スイッチを [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする

• 画像がテレビに表示されます。

■撮ったものを海外で見るには

テレビに画像を映したいときは、セットアップメニューの [ビデオ出力] が下記のように設定されているか確認してください。(P99)

NTSC: 日本やアメリカなどで見るとき

PAL: ヨーロッパなどで見るとき

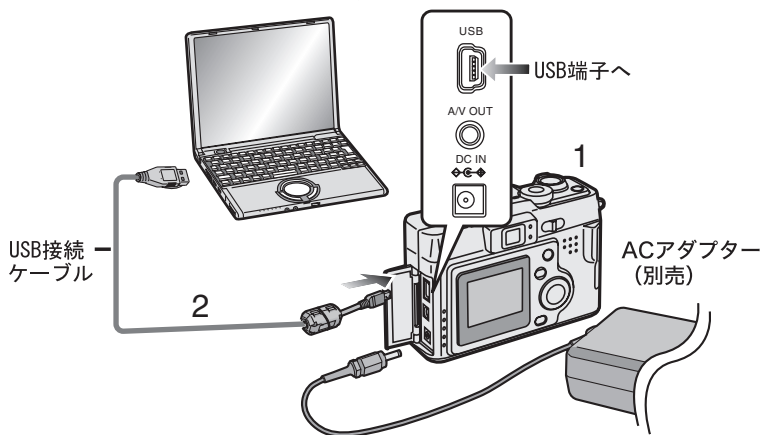
(正しく設定されていないと、画面が乱れたり、色が付かなかったりすることがあります)

使いこなす

お願い/ヒント

• 付属の A/V ケーブル以外は使わないでください。
• モードダイヤルを再生 [▶] にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
• テレビの取扱説明書もお読みください。

パソコンと接続する

Windows® 98/98 SEをご使用の方は、USBドライバーのインストールを行ってから接続してください。
（Windows® Me/2000/XP、MacOS 9.x/MacOS Xをご使用の方はUSBドライバーをインストールする必要はありません）

1　本機にカードを入れ、電源スイッチを [ON] にする

2　付属の USB 接続ケーブルで、本機とパソコンを接続する

[Windows の場合]

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- 初めて接続したときは、Windowsのプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

[Macintosh の場合]

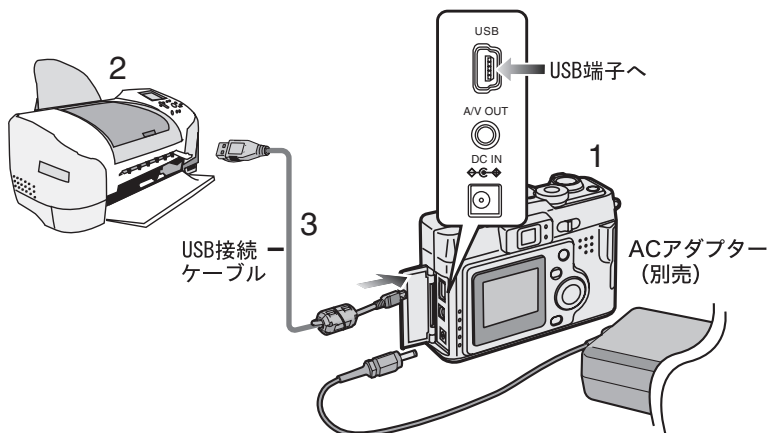
画面上にドライブが表示されます。

お願い/ヒント

- 通信中はフラッシュ/アクセスランプが点灯します。
- 通信中に電池がなくなるとデータが破壊されるおそれがあります。電池残量は液晶モニターに表示されませんので、接続時は十分残量のある電池または別売の ACアダプター/DMW-AC1 を使用してください。
- 通信中に電池残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源スイッチを[OFF]にして、新しい電池に交換してください。
- 接続時は A/V OUT 端子から映像や音声は出力されません。
- 詳しくは別冊の「パソコン接続編」をお読みください。

USB ダイレクトプリントする

[接続する]

付属の USB 接続ケーブルを使って本機を USB DIRECT-PRINT 対応プリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
対応プリンターについてはプリンターメーカーにお問い合わせください。(プリンターの取扱説明書もお読みください)

1　本機にカードを入れ、電源スイッチを [ON] にする

2　プリンターの電源を入れる

3　付属の USB 接続ケーブルで、本機とプリンターを接続する

使いこなす

お願い/ヒント

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続時は十分残量のある電池または別売の AC アダプター/DMW-AC1 を使用してください。
- ダイレクトプリント中に電池残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し、警告音が鳴りますのですぐにダイレクトプリントを中止してください。そのあと電源スイッチを [OFF] にして、新しい電池に交換してください。
- ダイレクトプリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。

1

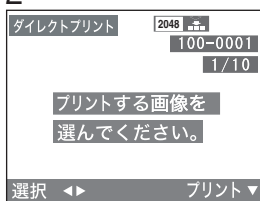
2

3,4

5

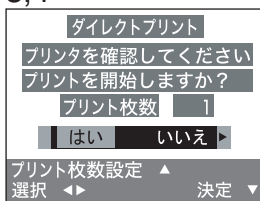
[選択画像]

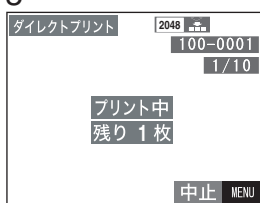
[準備]

- プリンターに接続する(P81)
- 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする(プリンターの取扱説明書をお読みください)

1　DPOF プリントが設定されている場合は、1 の画面が表示されるので、◀ で [選択画像] を選び ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- DPOF　プリントが設定されていない場合は､2 の画面が表示されます。

2　◀/▶ でプリントしたい画像を選び ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 約 2 秒間｢プリントする画像を選んでください。｣と表示されます。

3　プリント枚数を設定したい場合は、▲ を押し、◀/▶ でプリント枚数を設定し、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- ｢プリンタを確認してください　プリントを開始しますか？｣と表示されます。

4　◀ で [はい] を選ぶ

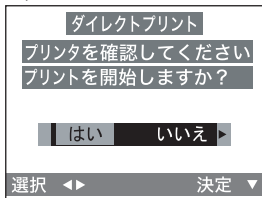
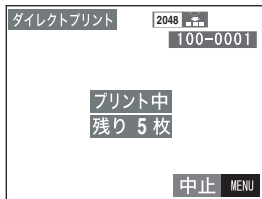
5　▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 印刷が開始されます。

お願い/ヒント

- 途中で印刷を中止したい場合は、[MENU] を押してください。

1

2,3

4

[DPOF]

[準備]

- プリンターに接続する（P81）
- あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく（P67）
- 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする（プリンターの取扱説明書をお読みください）

1 DPOF プリントが設定されている場合は、この画面が表示されるので、▶ で [DPOF] を選ぶ

- [MENU] を押すと DPOF プリントの設定が変更できます。（P67）

2 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 「プリンタを確認してください プリントを開始しますか？」と表示されます。

3 ◀ で [はい] を選ぶ

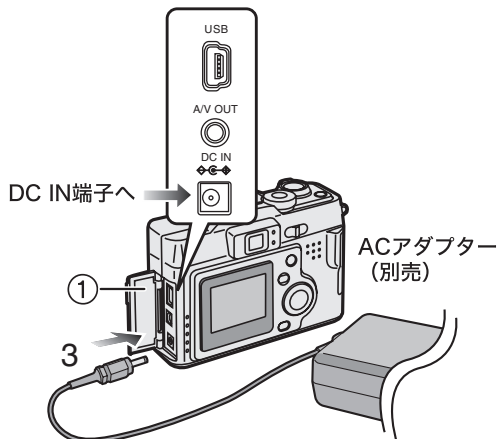
4 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押す

- 印刷が開始されます。

お願い/ヒント

- 途中で印刷を中止したい場合は、[MENU] を押してください。
- 枚数表示が 255 以上になると、残り枚数が [－－－－] で表示されます。

AC アダプターを使う

別売の AC アダプター/DMW-AC1 を使って電源コンセントにつなぐと、電池の消耗を気にせずに使えます。

[準備]
電源スイッチが [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

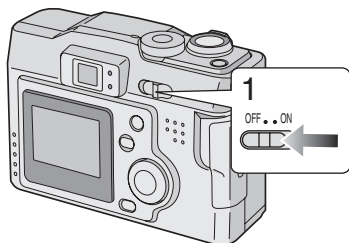
1　AC アダプターを電源コンセントに差し込む

2　端子扉 ① を開く

3　AC アダプターを DC IN 端子に差し込む

お願い/ヒント

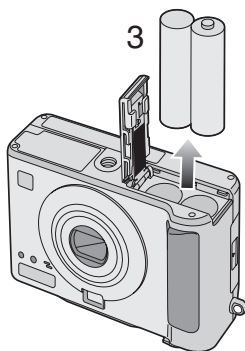
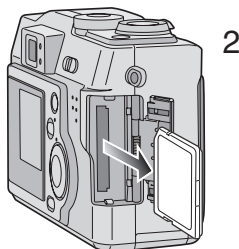
- 別売の AC アダプター/DMW-AC1 以外は使用しないでください。
- 使用中、本機が温かくなりますが、故障ではありません。
- AC アダプターは海外でも使うことができます。ただし変換アダプターが必要です。
- AC アダプターを接続して本機で電池を充電することはできません。
- 電池を使用して本機の電源スイッチを [ON] にしたまま、ＡＣ アダプターを抜き差しするとカードのデータが破壊されたり、操作できなくなる場合があります。必ず、電源スイッチを [OFF] にしてから、ＡＣ アダプターを抜き差ししてください。

使い終わったら

本機を使い終わったら、以下の手順のあと、別売のソフトケース（DMW-CL33）などに入れて保管することをおすすめします。

1　電源スイッチを[OFF]にする

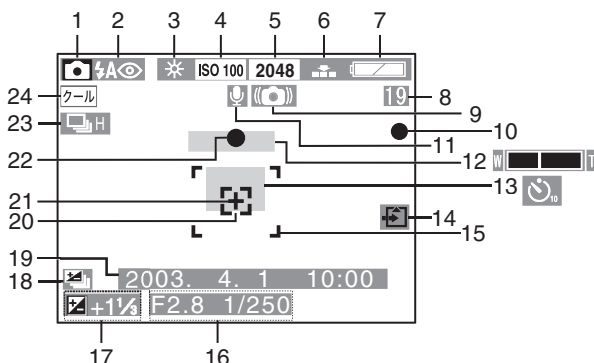
- レンズが収納されます。

2　カードを取り出す（P19）

3　電池を取り出す

お願い/ヒント

- 本機を長期間使用しないときは、必ず電池を取り出しておいてください。（電池を再度入れたときは、時計を設定し直してください）
- 高温、多湿、油煙の多いところに長期間保管すると、レンズにカビが付いたり、つゆつきが起こったりする場合があります。
- 涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ほこりや化学薬品のないところに保管してください。長期間の保存には密閉した容器に乾燥剤と一緒に入れることをおすすめします。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

[撮影時]

1 撮影モード(P7)

2 フラッシュモード(P32)

3 ホワイトバランス(P45)

4 ISO 感度(P49)

5 記録画素数(P47)

6 クオリティ(圧縮率)(P47)

7 電池残量(P17)

8 残り枚数 / 時間
動画時:×××秒

9 手ぶれ警告(P28)

10 ●:記録動作表示

11 :音声記録(P50)

12 ズーム(P31, P51)
(デジタルズーム設定時:)

13 セルフタイマーモード(P34)

14 カードアクセス表示(P20)

15 :AF エリア(P26)

16 絞り表示(P26)/ シャッタースピード表示(P26)

17 露出補正(P54)

18 オートブラケット(P55)
:オート(AE)ブラケット

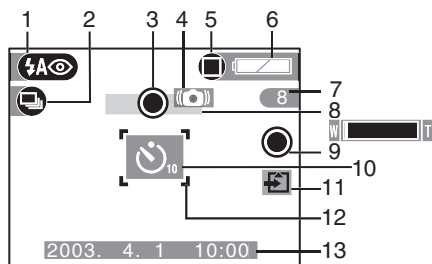
19 現在日時(P24)
起動時 / 時計設定後約 5 秒間表示します。

20 スポット AF エリア(P48)

21 +:スポット測光ターゲット(P48)

22 ●:フォーカス表示(P26)

23 連写(P35)

24 カラーエフェクトモード(P52)

[かんたんモード時]

1 フラッシュモード(P32)

2 連写(P35)

3 フォーカス表示(P38)

4 手ぶれ警告(P28)

5 画質設定(P37)

6 電池残量(P17)

7 残り枚数

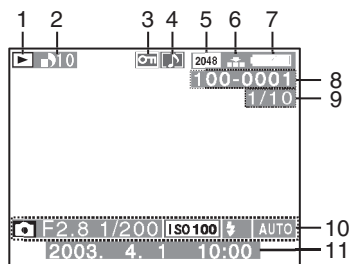
8 ズーム(P31)

9 記録動作表示

10 セルフタイマーモード(P34)

11 カードアクセス表示(P20)

12 AF エリア(P26)

13 現在日時(P24)
起動時/時計設定後約5秒間表示します。

[再生時]

1 :再生モード

2 DPOF[ ]プリント枚数(P67)
(白):プリント設定済み
(緑):スライドショー設定済み
(緑)(プリント枚数付き):
プリント / スライドショーともに設定済み

3 :プロテクト画像(P64)

4 : 音声付き画像(P57)

5 撮影記録画素数(P47)

6 撮影クオリティ(圧縮率)(P47)
:動画時
かんたんモード時
:引き伸ばし
:サービス版
:インターネット

7 電池残量(P17)

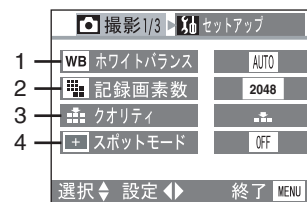
8 フォルダー/ファイル番号

9 ページ/トータル枚数

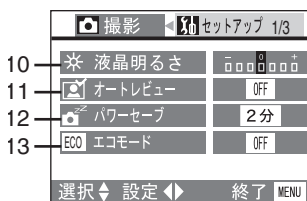
10 撮影情報
[DISPLAY] ボタンを押すと表示します。

11 撮影日時

メニュー画面の表示

撮影系メニュー画面

1 ホワイトバランス(P45)
2 記録画素数(P47)
3 クオリティ(P47)
4 スポットモード(P48)

5 ISO 感度(P49)
6 音声記録(P50)
7 デジタルズーム(P51)
8 カラーエフェクト(P52)

9 画質調整(P53)

10 液晶明るさ(P23)
11 オートレビュー(P23)
12 パワーセーブ(P23)
13 エコモード(P23,P36)

14 操作音(P23)
15 番号リセット(P23)
16 設定リセット(P23)
17 時計設定(P24)

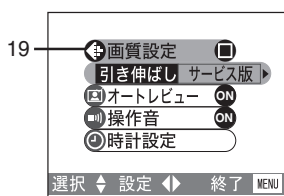
撮影 セットアップ 3/3

18 言語設定

日本語 ENG

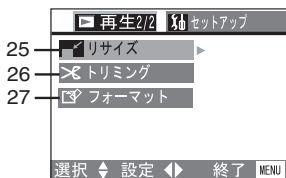
18 言語設定(P23)

かんたんモードメニュー画面

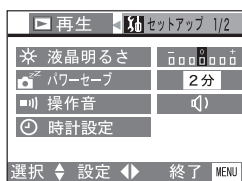
• 下図に番号記載のない項目は、撮影系メニューの同名のものを参照してください。

19 画質設定（P37）

再生系メニュー画面

• 下図に番号記載のない項目は、撮影系メニューの同名のものを参照してください。

20 プロテクト（P64）
21 DPOF プリント（P67）
22 スライドショー（P70）
23 アフレコ（P72）
24 携帯画像（P73）

25 リサイズ（P75）
26 トリミング（P76）
27 フォーマット（P78）

28 ビデオ出力（P23,P79）

その他

⚠警告

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁　止

事故の誘発につながります。

●歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部に触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電池を取り出す

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電池を取り出す

火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

⚠警告

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

フラッシュの発光部分を手で触らない

フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。やけどにつながります。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

⚠警告

分解や改造をしない

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

●お手入れ時、または部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

ケーブルを持って抜かない
ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

USB接続ケーブルはUSB端子以外には装着しない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USB接続ケーブルを装着する前に、使用機器の端子がUSB用であることを確認してください。

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

強い光により、目をいためるおそれがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

新しい電池と古い電池を混ぜて使わない

種類が違う電池を使わない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

電池は⊕⊖を確かめ、正しく入れる

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。デジタルカメラ、電池などを絶対に放置しないでください。
熱で外装が変形し内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

⚠注意

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し、内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

●3年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)

●費用についても、そのときお確かめください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

使用上のお願い

デジタルカメラについて

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電池を一度取り出してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにするまた海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、レンズカバーが開かない、レンズが出てこないなど、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。 万一雨水や水滴がかかったときも、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れ、故障します。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、電池を取り出しておきます。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

電池について

使用後は、必ず電池を取り出す

- 入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れているので電池が放電します。

出かけるときは予備の電池を準備する

- 使用したい時間の３～４倍の電池を準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。

電池を誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

- 使用後は必ずカードを取り出し、電池を取り出してください。
- 電池は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
(推奨温度：１５℃～２５℃、推奨湿度：４０％～６０％です)

- 極端に低温、高温になるところで保管すると、電池の寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。

不要(寿命になったなど)電池は火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。
- 電池には寿命があります。

■ ニッケル水素電池について

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
- お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店･サービスセンター･販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。
(ホームページ:http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

ニッケル水素
電池使用

その他

使用上のお願い(つづき)

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は
下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

- 電源スイッチを [OFF] にし、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

メモリーカードについて

フラッシュ/アクセスランプとカードアクセス表示が点灯中(カードにアクセス中)は、メモリーカード扉を開けてカードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

**カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない。
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない**

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

- 使用後や保管、持ち運び時は収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。
また手などで触れないでください。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「しばらくお待ちください」が表示されているときは絶対に、電池を取り出したり、別売の AC アダプター/DMW-AC1 を抜いたり、カードを取り出したりしないでください。データの破壊および、故障の原因になります。

液晶モニターについて

- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

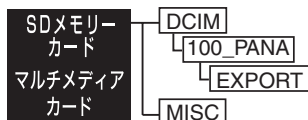
- 液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが 0.01%以下で画素欠けするものがあります。

三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ぶれのない安定した撮影ができます。

- 三脚の説明書もよくお読みください。

フォルダー構造について

データを記録したカードをパソコンに入れると、フォルダーが下図のように表示されます。

- 100_PANA フォルダーなどには最大で 999 枚の画像を記録できます。
- MISC フォルダーには DPOF 設定されたファイルが記録されます。
- EXPORT フォルダーには携帯画像のファイルが記録されます。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

再生系メニュー画面から [ビデオ出力] を選んで、設定すると、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

●アメリカ合衆国
●アンチグア・バーブーダ
●イエメン（一部地域）
●英領バーミューダ諸島
●エクアドル
●エルサルバドル
●ガイアナ
●カナダ
●キューバ
●グァテマラ
●グァム島
●グレナダ
●コスタリカ
●コロンビア
●ジャマイカ
●スリナム
●セントクリストファー・ネイビス
●セントビンセント・グレナディーン諸島
●セントルシア
●大韓民国
●台湾
●チリ
●ドミニカ共和国
●ドミニカ国
●トリニダード・トバゴ
●ニカラグア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バルバドス
●フィジー
●フィリピン
●プエルトリコ
●米領サモア
●ベトナム（一部地域）
●ベネズエラ
●ベリーズ
●ペルー
●ボリビア
●ホンジュラス
●マーシャル諸島
●マリアナ諸島
●ミクロネシア連邦
●ミャンマー
●メキシコ

その他

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードがありません	メモリーカードを入れてください。
このメモリーカードはプロテクトされています	メモリーカードの書き込み禁止スイッチの [LOCK] を解除してください。
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたメモリーカードを入れてから再生してください。
メモリーカード残量がありません / メモリーカード残量が不足しています	新しいカードに取り替える、または不要なデータを削除してください。
モードダイヤルがずれています	モードダイヤルの位置がずれたまま電源スイッチを [ON] にしています。 モードダイヤルの位置を正しく合わせてください。
メモリーカードエラー	メモリーカードへのアクセスに失敗しました。 もう一度カードを入れてください。
リードエラー	データの読み込みに失敗しました。 もう一度再生してください。
ライトエラー	データの書き込みに失敗しました。 カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
システムエラー	レンズに手などで力が加わって正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
時計を設定して下さい	お買い上げ時や長期間保管していた場合などに表示されます。再度時計設定をしてください。

メッセージ	実行していただきたいこと
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。
設定枚数をこえました	複数削除で 1 度に設定できる枚数をこえています。一度決定してから、再度複数削除の設定をしてください。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定、アフレコ設定できません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか	本機では認識できないフォーマットです。本機でフォーマットし直してください。

その他

故障かな？と思ったら

Q（質問）	A（回答）
電源が入らない。	電池は正しく入っていますか？確認してみてください。
	電池の容量は十分ですか？
電源が入っていてもすぐに切れる。	電池が消耗していませんか？容量が十分な電池を入れてください。
	指定以外の電池を使っていませんか？
画像が撮れない。	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	カードは入っていますか？
	カードのメモリー残量はありますか？撮影する前にいくつかの画像を削除してください。
液晶モニターに画像が出ない。	液晶モニターが [OFF] になっていませんか？
	エコモードが働いていませんか？
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。
内蔵フラッシュが発光しない。	フラッシュを発光禁止に設定していませんか。フラッシュモードを変更してください。
液晶モニターの表示、または画像がフォーカスされない。	モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
フラッシュ撮影された画像が暗い。	フラッシュ調光センサーやフラッシュ発光部を指などでふさいでいませんか？

Q（質問）	A（回答）
再生できない。	カードが入っていますか？
	カードに再生できる画像はありますか？
	モードダイヤルは再生[▶]に設定されていますか？
テレビに画像が出ない。	テレビと正しく接続されていますか？
	テレビはビデオ入力モードに設定してください。
テレビの画像が乱れる。	[ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。
パソコンに接続して画像を転送できない。	パソコンと正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定して下さい」の警告が出ますので、再度時計の設定をしてください。
	時計設定をしない状態で撮影されますと、[0. 0. 0 0:00]の日付が記録されます。

仕様

消費電力	1.7 W（液晶 ON 撮影時） 0.7 W（液晶 OFF 撮影時） 1.0 W（再生時）
カメラ有効画素数	320 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 334 万画素、 原色フィルター
レンズ	光学 3 倍ズーム f=5.8-17.4 mm（35 mm フィルムカメラ換算：35-105 mm）/F2.8-4.9
デジタルズーム	最大 3 倍
フォーカス	コントラスト検出　オート / マクロ スポット AF（スポットモード）
撮影範囲	通常：50 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）〜∞、 マクロ / かんたんモード時： 10 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）〜∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	4 コマ / 秒　最大 8 コマ（スタンダード） / 最大 5 コマ（ファイン）
動画撮影	320 × 240 画素、10 コマ / 秒　音声付き
ISO 感度	オート /50/100/200/400
シャッタースピード	8-1/2,000 秒 動画：1/30-1/2,000 秒
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / セットモード
露出	オート 露出補正（1/3EV ステップ、− 2 〜＋ 2EV）
測光方式	評価測光 / スポット測光（スポットモード）
液晶モニター	1.5型低温ポリシリコンTFT液晶（11.4万画素） （視野率 100%)
光学ファインダー	実像式ズームファインダー
フラッシュ	撮影範囲：W 端時：約 30 cm 〜 2.4 m/T 端時： 約 50 cm 〜 140 cm オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード／マルチメディアカード

記録画素数	静止画：2048 × 1536 画素 /1600 × 1200 画素 / 1280 × 960 画素 /640 × 480 画素 動画：320 × 240 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式	
静止画	JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
音声付き静止画	JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）+640 × 480 画素 QuickTime（音声付き静止画）
動画	QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース	
デジタル	USB
アナログビデオ / オーディオ	NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り替え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子	
USB	5pin Mini USB
アナログビデオ / オーディオ	φ2.5 mm ジャック
DC IN	EIAJ タイプ 1 ジャック
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	96 × 65.5 × 41.2 mm（突起部除く）
質量	約 170 g（本体） 約 215 g（メモリーカード、電池含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%
電源	単３形 アルカリ乾電池（２本） 単３形 ニッケル水素電池（２本）（別売） AC アダプター/DMW-AC1（別売）

さくいん

• 液晶モニターまたはメニューの画面の表示についてはP86～P89 を参照してください。

その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ：お買い上げ日から本体１年間

「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	デジタルカメラ
品　番	DMC-LC33
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

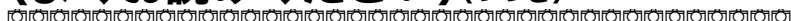
- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151				

その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	**千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756		

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	**長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	**静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	**岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	**名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
		三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**奈良** 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲**	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島**	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田**	浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口**	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎ (083)986-4050
松江	松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山**	岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	**高知**	南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142	**愛媛**	松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125				

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分**	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草**	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎**	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	**鹿児島**	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本**	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島**	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0902

その他

Panasonic　デジタルカメラ　DMC-LC33　取扱説明書

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは米国および他の国々で登録された商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DMC-LC33
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ

〒571ー8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ

〒571ー8503　大阪府門真市松葉町2番15号